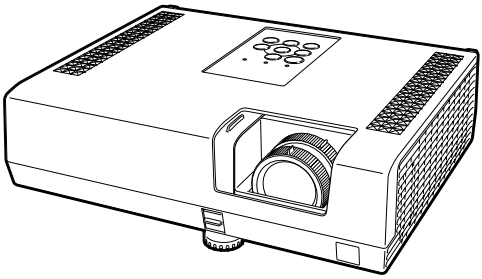
TAXAN

データプロジェクター

形名

KG-PH201WX
KG-PH202X

取扱説明書



PICTURE BY DLP TEXAS INSTRUMENTS

HDMI™ HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

PJLink™

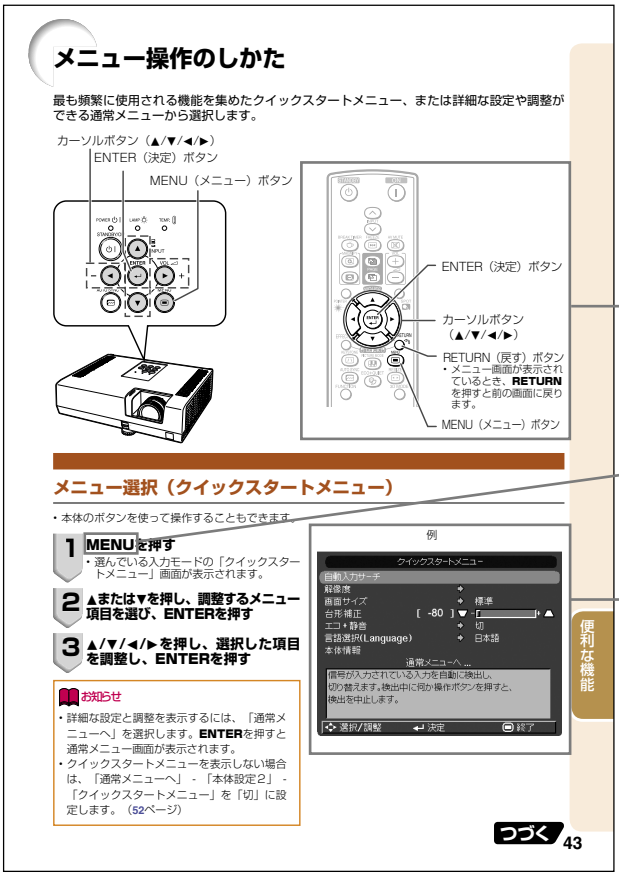
このたびはタクサンデータプロジェクターをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。ご使用の前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。・・・・・5ページ

- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- なお、この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

この取扱説明書の見かた

※ 画面表示やイラストは、説明のために簡略化してありますので、実際とは多少異なる場合があります。



お知らせ

・特に気をつけていただきたい内容について説明しています。

メモ

・操作や設定時の制限事項や注意する内容について説明しています。

こんなときは

お手入れをするときは

65ページ

故障かな？と思ったら

74ページ

もくじ

ご使用になる前に「安全に正しくお使いいただくために」（5〜9ページ）を必ずお読みください。

まず

はじめに

この取扱説明書の見かた 2
もくじ 3
安全に正しくお使いいただくために 5
　電池についての安全上のご注意 9
使用上のご注意 10
付属品について 12
各部のなまえとはたらき 13
　前面 13
　天面操作部 13
　背面端子 14
　リモコン 15
　乾電池の入れかた 16
　リモコンの使用範囲 16

基本的な使いかた

基本的な使いかた 17
　設置から投映まで 17

設置する

本機を設置する 19
　本機の設置のしかた 19
　基本的な設置（前面からの投映） 19
　画面サイズと投映距離 20
　投映方式 22

接続する

外部機器と接続する 23
プロジェクターをコンピュータで制御する 26
電源コードを接続する 27

さあ

使ってみる

電源の入れかた / 切りかた 28
　電源を入れるとき 28
　電源を切る（待機状態にする）とき 28
投映のしかた 29
　セットアップガイドについて 29
　投映画像を調整する 29
　画面の台形歪みを補正する（台形補正） 29
　入力を切り換える 32
　本体の音量を調整する 32
　投映した映像と音声を一時的に消す 32
　入力信号に合わせた画面サイズを選ぶ 33

便利な機能

リモコンで投映画像を操作する 37
　休憩時間表示を設定する 37
　ポインタを使用する 37
　スポット機能を使用する 37
　消費電力を低減する（「エコ+静音」モード） 37
　コンピュータから入力された画面を自動同期調整する（自動同期調整機能） 38
　投映中の画像を静止画にする 38
　投映する画像に合わせた映像モードを選ぶ 38
　画像の一部を拡大表示する 38
　リモコンをワイヤレスマウスとして使用する 39
メニュー内容一覧 40
メニュー操作のしかた 43
　メニュー選択（クイックスタートメニュー） 43
　クイックスタートメニュー 44
　メニュー選択（通常メニュー） 44
投映した映像を調整・設定する（映像調整メニュー） 46
　映像モードを選ぶ 46
　お好みの映像に調整する 47
　色味を変える（色温度設定） 47
　色を調整する（C. M. S.） 47
　フィルムモードを選択する 48
　ノイズを軽減する（DNR） 48
　エコ + 静音を選択する 48
入力信号に合わせた設定・調整を行う（信号調整メニュー） 49
　コンピュータの画面を調整する 49
　解像度を変更する 49
　入力信号タイプを設定する 49
　ダイナミックレンジを選択する 49
　映像信号方式を設定する 50
　EDID を選択する 50
　ビデオセットアップを設定する 50
　入力信号を確認する 50
表示のしかたを設定する（表示設定メニュー） 51
　画面サイズを設定する 51
　映像の位置を上下方向に調整する（画面シフト） 51
　画面の台形歪みを補正する 51
　オーバースキャンを設定する 52

画面に表示されている情報を表示しないように設定する（画面表示）.....52
無信号時やオープニング時に投映する画面を設定する（バックグラウンド設定）.....52
セットアップガイド表示を設定する 52
投映環境に合わせた投映方式を選択する.....52
壁色補正を選択する 53
画面に表示する言語を選択する（言語選択）.....53
本体機能を設定する（本体設定メニュー）.....54
コンピュータの画面を自動調整する（自動同期調整機能）.....54
無信号状態が続いたときに電源を自動的に待機状態にする（無信号電源オフ機能）.....54
自動復帰モード機能 54
内蔵スピーカーの入／切を設定する（スピーカー設定）.....54
RS-232C の通信速度を設定する（RS-232C 設定）.....54
ファンモードを設定する.....55
プロジェクターを不正に使用できないようにする（システムロック設定）.....55
本体の操作ボタンをロックする（キーロック機能）.....56
クイックスタートメニューを選択する...56
COMPUTER2 を選択する.....56
FUNCTION ボタンを設定する.....57
待機状態モードを設定する.....57
待機時音声出力を設定する.....57
DLP® Link™ を設定する.....57
DLP® Link™ 同期タイミング反転を行う.....57
初期設定に戻す 57
ランプ使用時間を確認する（ランプ時間（残率））.....57
3Dビデオ機能.....58
3D映像を見る前に 58
3D投映機能について 59
3D表示モードを使用する 59
3D対応入力信号（推奨信号）について.....61
本機のネットワーク設定をする（ネットワークメニュー）.....62
パスワードを設定する.....62
DHCP クライアント機能を設定する...63
TCP/IP を設定する 63
初期設定に戻す（ネットワーク）.....63
ネットワーク機能を再起動する 63
本機の情報を確認する.....64

付録

お手入れのしかた.....65
お知らせ表示について 66
ランプを交換する.....68
ランプについて 68
ランプ交換のしかた 69
プロジェクターを収納する 71
収納ケースの使いかた.....71
入力信号（推奨信号）について 72
故障かな？と思ったら.....74
仕様.....76
寸法図 77

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。
その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ 注意 人がケガをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

記号は、気をつける必要があることを表しています。

記号は、してはいけないことを表しています。

記号は、しなければならないことを表しています。

⚠ 警告

煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のときは電源プラグを抜く

● 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してカスタマーセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

● 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理をカスタマーセンターにご依頼ください。

キャビネットは絶対にあけない

● この機器のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理はカスタマーセンターにご依頼ください。

高圧注意

● サービスマン以外のかたはキャビネットをあけないでください。
内部には高電圧部分が数多くあります。
万一、さわると危険です。

● この機器を改造しないでください。
火災・感電の原因となります。

つづく

安全に正しくお使いいただくために（つづき）

⚠警告

表示された電源電圧で使用する

● 表示された電源電圧（交流 100～240 ボルト）以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

プロジェクターを落としたときは

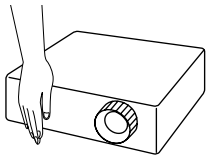
● この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてカスタマーセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

レンズをのぞかない

● 投映中にレンズをのぞかないでください。
眼を傷める原因となります。
特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

高温部には触れない

● 投映中は、排気孔、ランプユニットカバーやその周辺は高温になります。表面が十分冷えるまで触れないでください。



不安定な場所に置かない

● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガの原因となります。

天井へ取り付けるときは

● この機器を天井へ設置する場合は、専門業者へご依頼ください。
取り付けが不確実ですと、落下などにより感電・ケガの原因となります。

内部にものや水などを入れない

● この機器の開口部（通風孔など）から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 異物や水がこの機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてカスタマーセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

上には水の入ったものや小さな金属物を絶対に置かない

● こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

● 水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

● 感電の原因となります。

⚠警告

電源プラグの刃および刃の付近にホコリや金属物が付着した状態では使用しない

● ホコリや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると、火災·感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

● 火災·感電の原因となります。

電源コードを破損するようなことはしない

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに、重いものをのせてしまうことがあります。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

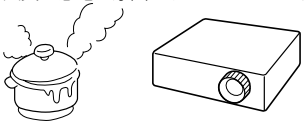
● 電源コードが傷んだら（ 芯線の露出、断線など ）交換してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意

油煙、湯気、湿気、ホコリなどが多い場所に置かない

● 湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



通風孔をふさがない

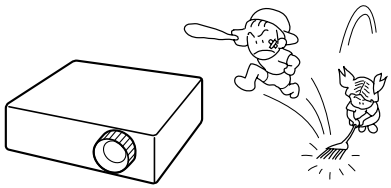
● この機器の通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
冷却ファン部〔排気側〕は、壁などから30cm 以上はなして設置してください。

● 次のような使い方はしないでください。
この機器を横倒しや、レンズを下にむけて逆さまにする。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。

重いものを置かない

● この機器の上に重いものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。

● この機器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。



置台に据えつけるときは

● キャスター付き置台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

つづく

安全に正しくお使いいただくために(つづき)

⚠注意

設置場所を変える場合は必ず接続線をはずす

●設置場所を変える場合は、機器本体の電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線等外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

●コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

旅行などで長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く

●安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

お手入れのときは電源プラグを抜く

●安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

●差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

●電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

3年に一度は機器内部の清掃を販売店に依頼する

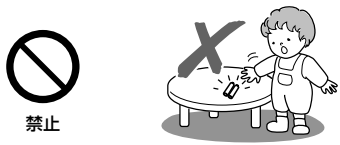
●内部にホコリがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用についてはカスタマーセンターにご相談ください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

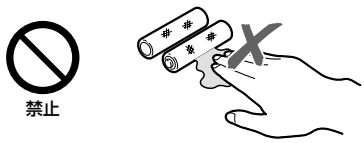
⚠注意

電池は幼児の手の届く所に置かない



● 電池は飲み込むと、窒息の原因や胃などに止まると大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

電池の液が漏れたときは素手でさわらない

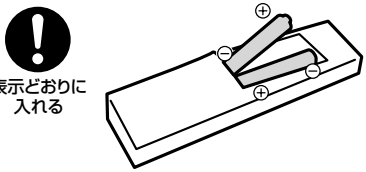


● 電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
● 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない 乾電池は充電しない

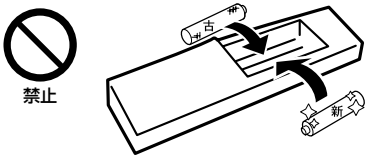
● 電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる



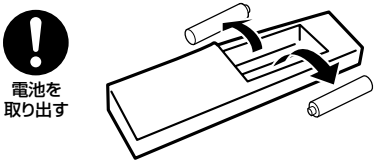
● 間違えると電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない 新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない



● 電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す



● 電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ故障、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

使用上のご注意

設置するときは次の点にご注意ください

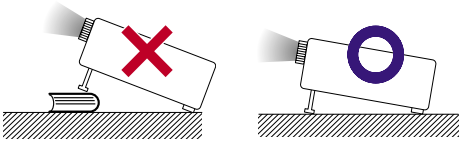
ホコリ、湿気の少ないところへ

■湿気やほこりの多い場所、油煙やタバコの煙の当たるような場所に置くと、レンズ・ミラー・ランプ等の光学部品に汚れが付着し、映像がぼやけたり、暗く見にくくなります。

直射日光や、照明の光はさけてください

■スクリーンに直接光があたると画面が白っぽくなり見にくくなります。明るい光が入る部屋ではカーテンを引くようにしてください。(できるだけ、暗い環境でお使いいただくことをおすすめします。)

本機を設置するときは



■本機を設置するときは、水平な場所に設置しアジャスターの調整範囲内（9度）でご使用ください。

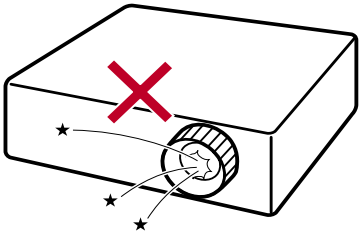
■プロジェクターをお買い上げ後、最初に電源を入れたとき、排気孔からわずかに匂いがする場合がありますが、ご使用にともない、なくなります。

山岳など高地（標高約1500m）以上でご使用になるとき

■空気の希薄な高地などでご使用になるときは、ファンモードを「高」に設定してください。そのまま使用すると、部品の寿命などに影響を及ぼす恐れがあります。

衝撃を与えないでください

■レンズには、特にご注意いただき表面を打ったり傷をつけたりしないようご注意ください。



高温、低温の場所はさけてください

■使用温度範囲　5℃～35℃

■保存温度範囲　－20℃～＋60℃

排気孔や吸気孔をふさがないように

■排気孔側に壁やモノがある場合は、30cm以上スキ間をあけて設置してください。

■排気孔や吸気孔をふさがないよう設置してください。

■冷却ファンがふさがれると、内部温度上昇のため保護回路が働き自動的に待機状態になる場合があります。（66、67ページ）このようなときはプロジェクターの電源コードをコンセントから抜き、10分以上そのままにしてください。その後排気孔や吸気孔をふさがない場所に設置してもう一度電源コードをつなぎ電源を入れます。

取り扱い時のご注意

■取り扱うときは、衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。レンズには特にご注意ください。また、長時間使用しない、または収納する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線をはずしたことを確認の上行ってください。

■取り扱うときは、レンズ部を持たないでください。

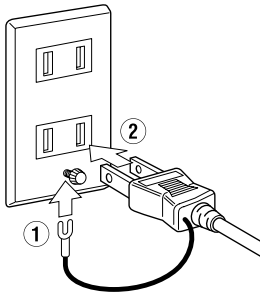
■使用しないときや、収納するときは、レンズシャッターを閉じてください。

■直射日光の当たる場所や、熱器具などの近くに放置しないでください。キャビネットの変形・変色の原因になります。

電源コードの接続について

■電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。

■アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。



接続機器について

■プロジェクターにコンピュータやAV機器を接続するときは、プロジェクターおよび接続する各機器の電源を必ず切ってから接続してください。

使用時のご注意

目をときどき休めてください

■連続して長い時間画面を見ていると目が疲れますので、ときどき目を休めてください。

ランプ交換に関しての注意

■「ランプについて」（68ページ）もご覧ください。

■廃棄の方法について

このプロジェクターに使用している高輝度放電ランプ（HIDランプ）は、微量な水銀を含有しています。これらの含有物は、環境考慮の観点から法的に規制されている場合があります。廃棄やリサイクルについては、関連法規およびお住まいの地域の条例などに従って処理してください。

ランプ交換ユニットに関しての注意

■ランプが破裂するとガラス破片でけがをするおそれがあります。ランプが破裂した場合には、カスタマーセンターにご連絡ください。

国外では使用できません

■この製品が使用できるのは日本国内だけです。

- 本製品のICチップの中には、米国テキサスインスツルメンツ社の営業秘密が含まれているICチップがありますので、その内容をコピー、改変、適応、翻訳、配布、リバースエンジニアリング、リバースアセンブリングもしくはディスアセンブリングをすることは禁じられております。
- DLP®、DLPロゴは、テキサス・インスツルメンツ社の登録商標です。
- DLP®チップは、テキサス・インスツルメンツ社の商標です。
- BrilliantColor™は、テキサス・インスツルメンツ社の商標です。
- Microsoft®、Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。
- PC/ATは米国IBM社の登録商標です。
- Macintosh®はアップルコンピュータ・インクの米国および、その他の国における登録商標です。
- PJLink商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- Adobe®、Adobe® Reader®はAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標または商標です。
- その他の製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。

- この製品は、クラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

付属品について

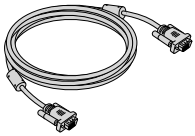
付属品

リモコン

単3形乾電池
（2本）

※電池を交換する際は
アルカリ電池をご使
用ください。

RGBケーブル（3m）

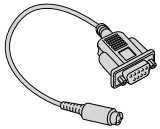


電源コード（1.8m）

この電源コードは
本機専用品です

収納ケース

DIN-D-sub RS-232C アダプター（15cm）



※コンピュータ側の接続端子の変更等により、そのままでは接続できない場合がありますので、コンピュータの仕様をご確認ください。変換コネクター（市販品）が必要な場合があります。

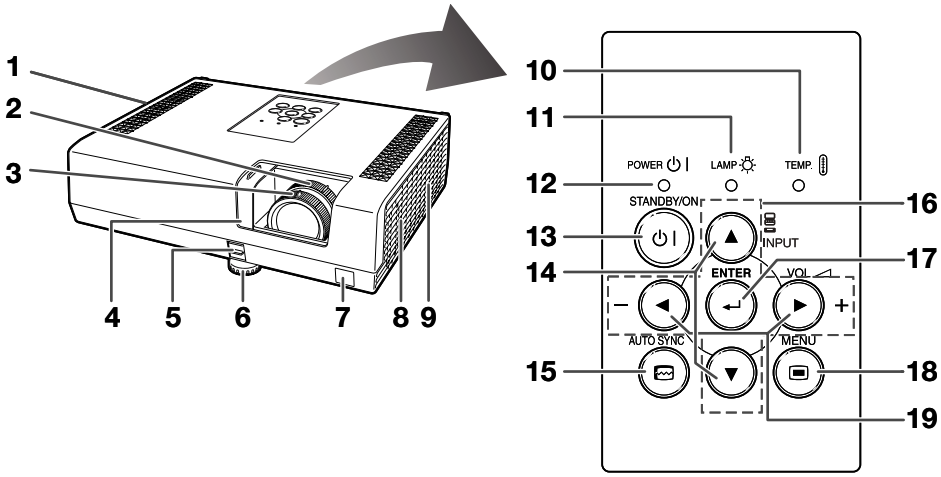
・取扱説明書（本書）
・保証書（箱に貼り付け）

別売品のご案内

■ランプユニット	KG-LPH2230
■天吊金具	KG-BRPH2

各部のなまえとはたらき

■の中の数字は参照ページを示します。



前面

1 **排気孔** 65
2 **ズームリング** 30
投映画像を拡大／縮小します。
3 **フォーカスリング** 29
投映画像のピントを合わせます。
4 **レンズシャッター** 17, 28
5 **高さ調整レバー** 30
6 **アジャスター** 30
7 **リモコン受信部** 16
8 **スピーカー** 54
9 **吸気孔** 65

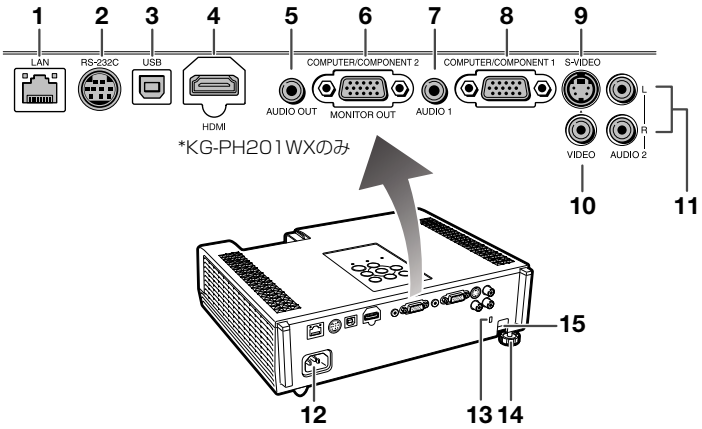
天面操作部

10 **温度モニター表示** 66
11 **ランプ表示** 66
12 **電源表示** 66
13 **STANDBY/ON(スタンバイ/電源入)ボタン** 28
電源を入れたり、待機状態にします。
14 **INPUT(入力切換)ボタン(▲/▼)** 32
入力モードを切り換えます。
15 **AUTO SYNC（自動同期調整）ボタン** 38
コンピュータ接続時の映像を自動で調整します。
16 **カーソルボタン(▲/▼/◀/▶)** 32
メニュー設定に使用します。
17 **ENTER(決定)ボタン** 32
メニューで選択調整した項目を決定します。
18 **MENU(メニュー)ボタン** 32
各種設定・調整用の画面を表示します。
19 **VOL(音量)ボタン(-◀/▶+)** 32
スピーカーからの音量を調整します。

つづく

各部のなまえとはたらき（つづき）

■の中の数字は参照ページを示します。



背面端子

1 LAN端子 27
コンピュータを使ってネットワーク経由でプロジェクターを制御します。

2 RS-232C端子 26
コンピュータ使用時にプロジェクターを制御する端子です。

3 USB端子 39
付属のリモコンをマウスとして使用するために、コンピュータのUSB端子に接続する端子です。

4 HDMI端子 23, 24, 25
***KG-PH201WXのみ**
HDMI入力用の端子です。

5 AUDIO OUT(音声出力)端子 25

6 MONITOR OUT（モニター出力）*端子 25
(コンピュータRGBとコンポーネント信号用の出力端子)
モニター接続用の端子です。
COMPUTER/COMPONENT 2（コンピュータ/コンポーネント2）*入力端子 23, 24
コンピュータRGBとコンポーネント信号用の端子です。
* MONITOR OUTまたはCOMPUTER/COMPONENT 2入力のどちらの端子を使用するかに合わせて設定を切り換える必要があります。

7 AUDIO(音声)1入力端子 25

8 COMPUTER/COMPONENT 1（コンピュータ/コンポーネント1）入力端子 23, 24
コンピュータRGBとコンポーネント信号用の端子です。

9 S-VIDEO(S映像)入力端子 24
S-video端子のある映像機器に接続するための端子です。

10 VIDEO(映像)入力端子 24
映像機器に接続するための端子です。

11 AUDIO(音声)2入力端子 25

12 AC電源ソケット 27
付属の電源コードを接続します。

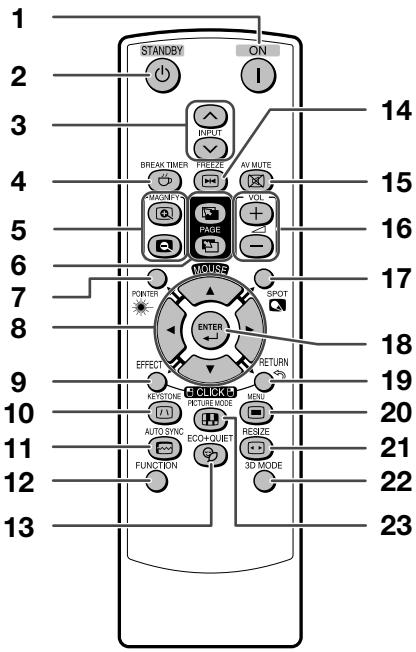
13 ケンジントンセキュリティースロット

14 後部アジャスター 30

15 セキュリティースロット

ケンジントンセキュリティースロットについて
- このケンジントンセキュリティースロットは、Kensington社製セキュリティーケーブルに対応しております。接続のしかたはケーブルに付属の取扱説明書をご覧ください。
- ケンジントンセキュリティースロットおよびセキュリティーケーブルは盗難を抑止するもので、万一発生した盗難事故による被害については責任を負いかねます。

■の中の数字は参照ページを示します。



リモコン

1 ON（電源入）ボタン 28
電源を入れます。

2 STANDBY(スタンバイ)ボタン 28
電源を待機状態にします。

3 INPUT（入力切換え）ボタン (∧ / ∨) 32
入力モードを切り換えます。

4 BREAK TIMER(休憩時間)ボタン 37
休憩時間を設定します。

5 MAGNIFY((拡大)／(縮小))ボタン 38
投映画像を部分拡大／縮小します。

6 PAGE UP/PAGE DOWN (ページアップ/ページダウン)ボタン 39
USBケーブルを使ってパソコンのUSB端子に接続しているときに、コンピュータの「Page Up」「Page Down」ボタンとして働きます。

7 POINTER(ポインタ)ボタン 37
画面上にポインタを表示させます。
▲/▼/◀/▶でポインタを移動することができます。

8 マウス/カーソルボタン(▲/▼/◀/▶) 39, 43
- USBケーブルを使ってパソコンのUSB端子に接続しているときに、マウスボタンとして働きます。
- メニュー設定・調整に使用します。

POINTER、SPOT、MOUSE機能時
▲と▶などの２重押しで斜めに移動できます。

9 L-CLICK/EFFECT(左クリック/効果)ボタン 37, 39
- USBケーブルを使ってパソコンのUSB端子に接続しているときに、左クリックボタンとして働きます。
- ポインタアイコンの形状やスポットエリアを変更します。

10 KEYSTONE(台形補正)ボタン 31
投映角度により生じる台形歪みを補正する画面にします。

11 AUTO SYNC(自動同期調整)ボタン 38, 54
コンピュータ接続時の同期を自動で調整します。

12 FUNCTION（機能）ボタン 57
「FUNCTION（機能）ボタン」に指定されている機能を実行します。

13 ECO+QUIET(エコ+静音)ボタン 37
「エコ+静音」モードを「入」にすると消費電力が低減すると同時にファン音も小さくなります。また、ランプ寿命が長くなります。（明るさも低減します。）

14 FREEZE(静止画)ボタン 34
映像を静止画の状態にします。

15 AV MUTE（AVミュート）ボタン 32
プロジェクターからの映像と音声を一時的に消します。

16 VOL +/−(音量)ボタン 32
スピーカーからの音量を調整します。

17 SPOT(スポット)ボタン 37
スポットライト画面に切り換わります。
▲/▼/◀/▶でスポットライト表示位置を移動できます。

18 ENTER（決定）ボタン 43
メニューで選択調整した項目を決定します。

19 R-CLICK/RETURN（右クリック/戻す）ボタン 39, 43
- USBケーブルを使ってパソコンのUSB端子に接続しているときに、右クリックボタンとして働きます。
- メニュー画面操作時、前画面に戻します。

20 MENU(メニュー)ボタン 43
各種設定・調整用の画面を表示します。

21 RESIZE(画面サイズ切換)ボタン 33
映像に合わせて画面サイズを切り換えます。

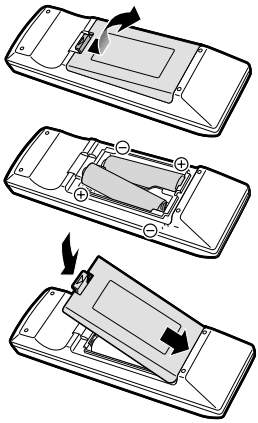
22 3D MODE（3Dモード）ボタン
3Dモードメニューを表示します。

23 PICTURE MODE（映像モード）ボタン 38
ゲームなどの投映画像に合わせて最適な映像を選びます。

つづく

各部のなまえとはたらき（つづき）

乾電池の入れかた



1 **裏ぶたのツメを押して、矢印の方向に開ける**

2 **付属の乾電池を入れる**

- プラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れて下さい。
- 新しい電池と交換する際は、アルカリ電池をご使用ください。

3 **裏ぶた下部の突起をリモコンの穴に差し込み、矢印の方向に閉める**

乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。

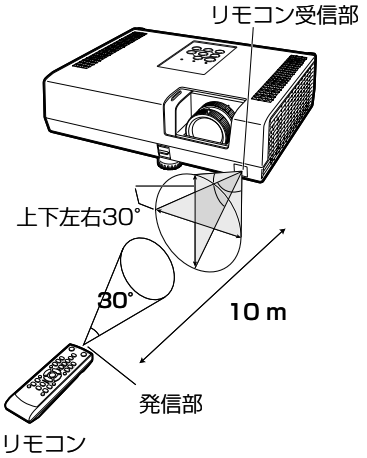
⚠注意

- 乾電池の⊕極と⊖極は、表示どおり正しく入れてください。
- 乾電池はショートさせたり、充電したり、分解したりしないでください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときや乾電池を使い切ったときは、液がもれて故障の原因となる恐れもありますので、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。

- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して整理しておいてください。
- 不要となった乾電池を廃棄する場合は、各自治体の指示（条例）に従って処理してください。

リモコンの使用範囲

リモコンの使用範囲は図のとおりです。



メモ

- リモコンをスクリーンに反射させて、リモコン信号を受信することもできますが、信号が届く距離はスクリーンの材質によって異なります。

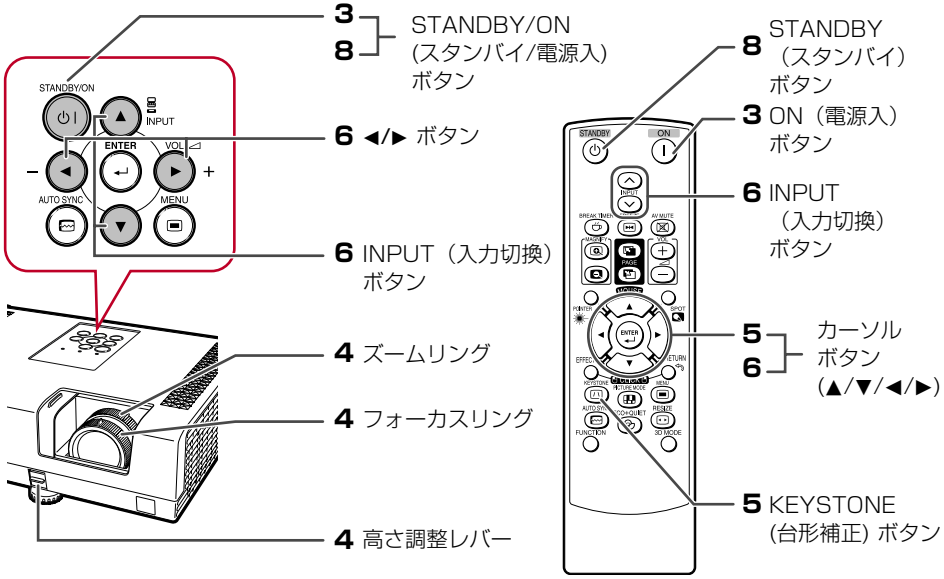
リモコン使用上のご注意

- 衝撃を与えたり、水にぬらしたり、温度の高いところには置かないでください。
- 蛍光灯の下では、リモコンの働きが悪くなる場合があります。そのようなときは、本体を蛍光灯から離してご使用ください。

基本的な使いかた

このページでは、本機の基本的な使いかた（コンピューターを接続して投映の場合）を説明しています。詳しくは各項目に記載されているページをご覧ください。

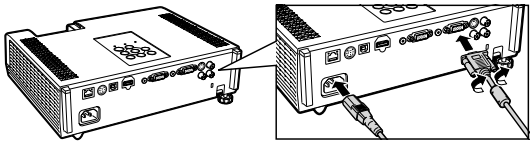
設置から投映まで



1. 本体を映したいスクリーンに向けて置く

➡18ページ

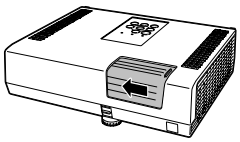
2. 電源コードおよびコンピュータを接続する



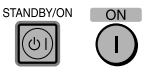
ほかの機器を接続する場合は、24、25ページをご覧ください。

➡23、27ページ

3. レンズシャッターを完全に開き、電源を入れる



本体　リモコン



➡28ページ

つづく

基本的な使いかた（つづき）

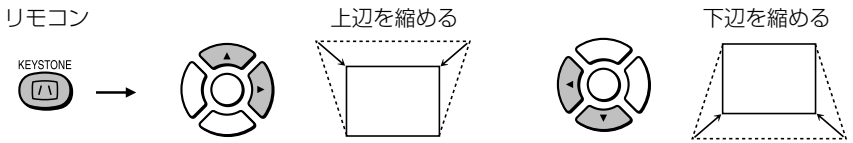
4. 投映された画像を調整する

1 本体が起動すると、セットアップガイド画面が表示されます。（セットアップガイド「入」時、52ページ）
2 セットアップガイドに従い、ピント、投映角度、画像の大きさを調整します。
3 ピント、投映角度、画像の大きさを調整したら、**ENTER**を押し、セットアップガイド画面を終了する。

➡29ページ

5. 台形歪みを調整する

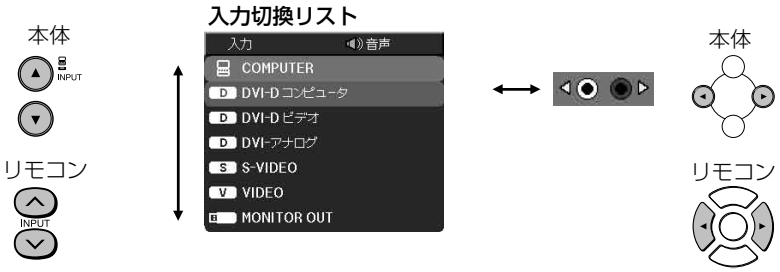
台形補正で台形の歪みを補正する



➡31ページ

6. 入力モードを選ぶ

INPUT ▲/▼（入力切換）を押して入力切換リストを表示する。**INPUT ▲/▼**を使用して入力モードを選択し、◀/▶ で音声入力端子を選択する。



➡32ページ

7. PCの電源を入れる

8. 電源を切るときは

本体の**STANDBY/ON**（スタンバイ/電源入）、または、リモコンの**STANDBY**（スタンバイ）を押し、確認画面が表示されている間にもう一度、同じボタンを押す

➡28ページ

本機を設置する

本機の設置のしかた

プロジェクターを水平な状態にして（アジャスターを使わない状態）、スクリーンに対して垂直に設置してください。この状態で投映すると台形補正の必要がなく、最良の映像が得られます。

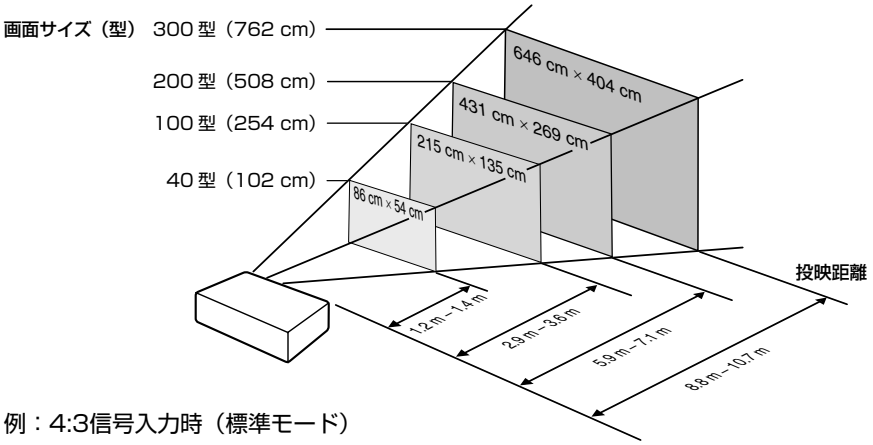
基本的な設置（前面からの投映）

■ 投映したい画面サイズに合わせて、スクリーンから必要な距離をとってプロジェクターを設置してください。（20ページ）

投映画像の大きさと設置距離のめやす

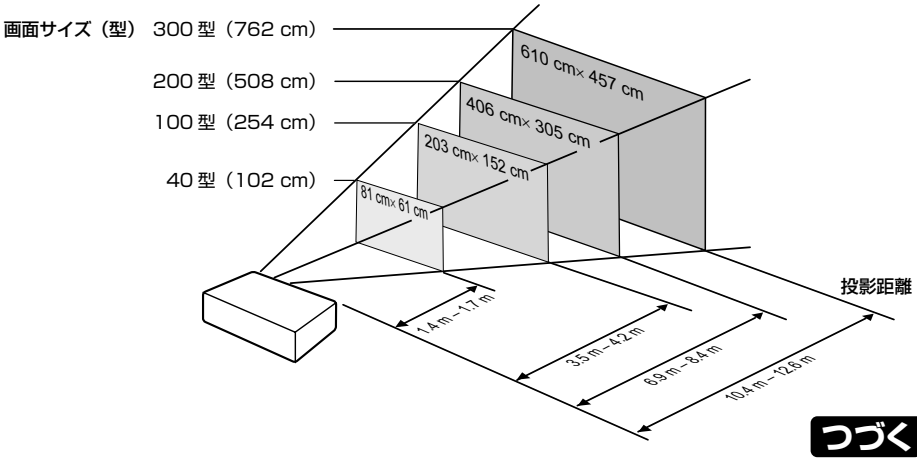
例： 16:10信号入力時（標準モード）

[KG-PH201WX]



例：4:3信号入力時（標準モード）

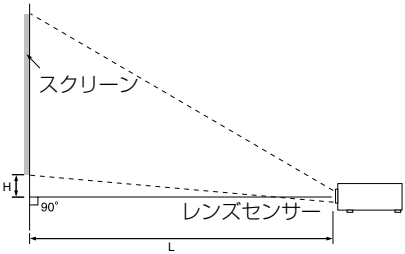
[KG-PH202X]



つづく

本機を設置する（つづき）

画面サイズと投映距離



メモ

・以下の表の寸法には若干の誤差があります。

KG-PH201WXの場合

16:10信号入力時（標準モード）

画面サイズ			投映距離（L）		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離（H）
対角（X）	幅	高さ	最短（L1）	最長（L2）	
300 型（762 cm）	646 cm	404 cm	8.8 m	10.7 m	8 cm
250 型（635 cm）	538 cm	337 cm	7.4 m	8.9 m	6 cm
200 型（508 cm）	431 cm	269 cm	5.9 m	7.1 m	5 cm
150 型（381 cm）	323 cm	202 cm	4.4 m	5.4 m	4 cm
120 型（305 cm）	258 cm	162 cm	3.5 m	4.3 m	3 cm
100 型（254 cm）	215 cm	135 cm	2.9 m	3.6 m	3 cm
80 型（203 cm）	172 cm	108 cm	2.4 m	2.9 m	2 cm
60 型（152 cm）	129 cm	81 cm	1.8 m	2.1 m	2 cm
40 型（102 cm）	86 cm	54 cm	1.2 m	1.4 m	1 cm

4:3信号入力時（標準モード）＊ビデオ入力時は、ズームモードとなります。（34ページ）

画面サイズ			投映距離（L）		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離（H）
対角（X）	幅	高さ	最短（L1）	最長（L2）	
300 型（762 cm）	610 cm	457 cm	10.0 m	12.1 m	9 cm
250 型（635 cm）	508 cm	381 cm	8.3 m	10.1 m	7 cm
200 型（508 cm）	406 cm	305 cm	6.7 m	8.1 m	6 cm
150 型（381 cm）	305 cm	229 cm	5.0 m	6.1 m	4 cm
120 型（305 cm）	244 cm	183 cm	4.0 m	4.8 m	3 cm
100 型（254 cm）	203 cm	152 cm	3.3 m	4.0 m	3 cm
80 型（203 cm）	163 cm	122 cm	2.7 m	3.2 m	2 cm
70 型（178 cm）	142 cm	107 cm	2.3 m	2.8 m	2 cm
60 型（152 cm）	122 cm	91 cm	2.0 m	2.4 m	2 cm
40 型（102 cm）	81 cm	61 cm	1.3 m	1.6 m	1 cm

	16:10 信号	4:3 信号
L1: 最短投映距離 (m)	0.02942 X	0.03331 X
L2: 最長投映距離 (m)	0.03568 X	0.04039 X
H: レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (cm)	0.02545 X	0.02881 X

X ：画面サイズ :40型-300型

KG-PH202Xの場合

4:3信号入力時（標準モード）

画面サイズ			投映距離（L）		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離（H）
対角（X）	幅	高さ	最短（L1）	最長（L2）	
300 型（762 cm）	610 cm	457 cm	10.4 m	12.6 m	18 cm
250 型（635 cm）	508 cm	381 cm	8.6 m	10.5 m	15 cm
200 型（508 cm）	406 cm	305 cm	6.9 m	8.4 m	12 cm
150 型（381 cm）	305 cm	229 cm	5.2 m	6.3 m	9 cm
120 型（305 cm）	244 cm	183 cm	4.1 m	5.0 m	7 cm
100 型（254 cm）	203 cm	152 cm	3.5 m	4.2 m	6 cm
80 型（203 cm）	163 cm	122 cm	2.8 m	3.3 m	5 cm
70 型（178 cm）	142 cm	107 cm	2.4 m	2.9 m	4 cm
60 型（152 cm）	122 cm	91 cm	2.1 m	2.5 m	4 cm
40 型（102 cm）	81 cm	61 cm	1.4 m	1.7 m	2 cm

16:9信号入力時（16:9モード）

画面サイズ			投映距離（L）		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離（H）	画面位置の調整範囲
対角（X）	幅	高さ	最短（L1）	最長（L2）		
300 型（762 cm）	664 cm	374 cm	11.3 m	13.7 m	82 cm	± 62 cm
250 型（635 cm）	553 cm	311 cm	9.4 m	11.4 m	69 cm	± 52 cm
200 型（508 cm）	443 cm	249 cm	7.5 m	9.1 m	55 cm	± 42 cm
150 型（381 cm）	332 cm	187 cm	5.6 m	6.8 m	41 cm	± 31 cm
120 型（305 cm）	266 cm	149 cm	4.5 m	5.5 m	33 cm	± 25 cm
100 型（254 cm）	221 cm	125 cm	3.8 m	4.6 m	27 cm	± 21 cm
80 型（203 cm）	177 cm	100 cm	3.0 m	3.6 m	22 cm	± 17 cm
60 型（152 cm）	133 cm	75 cm	2.3 m	2.7 m	16 cm	± 12 cm
40 型（102 cm）	89 cm	50 cm	1.5 m	1.8 m	11 cm	± 8 cm

	4:3 信号	16:9 信号
L1: 最短投映距離 (m)	0.03457 X	0.03766 X
L2: 最長投映距離 (m)	0.04187 X	0.04562 X
H: レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (cm)	0.06134 X	0.27437 X
S: 画面位置の調整範囲　51 ページ	—	± 0.20754 X

X ：画面サイズ：40型-300型

メモ

・上記の表の寸法には若干の誤差があります。

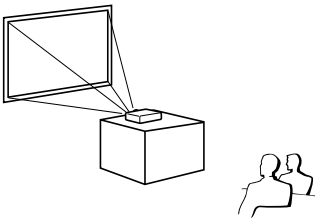
つづく

本機を設置する (つづき)

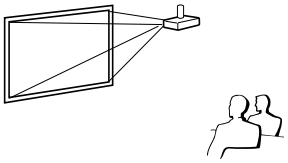
投映方式

本機は、下図の４通りの投映方式が可能です。設定場所に応じた投映方式を選択してください。（投映方式の設定は「表示設定」メニューで行うことができます。52ページをご覧ください。）

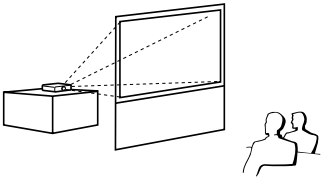
■ 床置き前方投映
メニュー項目→「フロント」



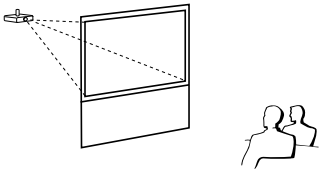
■ 天吊り前方投映
メニュー項目→「天吊り」



■ 床置き後方投映（透過スクリーン使用）
メニュー項目→「リア」



■ 天吊り後方投映（透過スクリーン使用）
メニュー項目→「天吊り+リア」



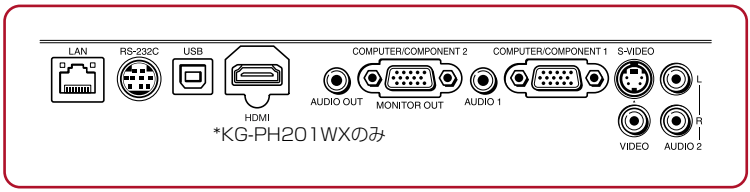
外部機器と接続する

接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続する機器の電源を切ってください。すべての接続が終わったあとで、プロジェクターおよび周辺機器の電源を入れます。コンピュータと接続した場合、コンピュータの電源は接続後、一番最後に入れてください。

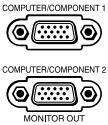
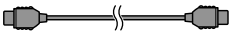
注意：
接続した機器の電源は、必ずプロジェクターで入力を選択した後に入れてください。

・使用しているケーブル名称は一例です。接続する機器によっては機器専用のケーブルを使用したり、変換プラグやアダプターが必要となる場合があります。詳しくは本機に接続する機器の取扱説明書で確認してください。

本体側端子



*KG-PH201WXのみ

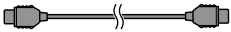
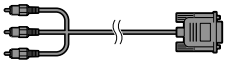
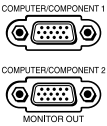
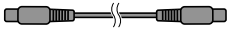
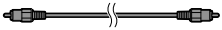
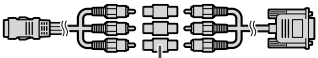
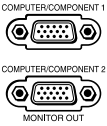
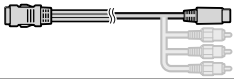
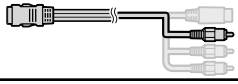
接続機器	接続機器側端子	変換ケーブル/接続ケーブル	本体側端子
コンピュータ	RGB映像出力端子	RGBケーブル（付属品）	COMPUTER/COMPONENT 
	HDMI出力端子	HDMIケーブル（市販品） 	HDMI *KG-PH201WXのみ

メモ

・COMPUTER/COMPONENT 2端子を、MONITOR OUT端子として使用することもできます。この端子を入力端子として使用する場合は、外部機器に接続する前に「COMPUTER2選択」を「入力」に設定します。（56ページ）
・対応しているコンピュータの表示モードについては、「入力信号（推奨信号）について」（72ページ）をご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本機の機能の一部が使用できない場合があります。
・Macintoshと接続する場合、コンピュータケーブルにアダプターが必要になる場合があります。
・**お使いのコンピュータによっては、外部出力ポートを有効にしないと映像が表示されない場合があります。**詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

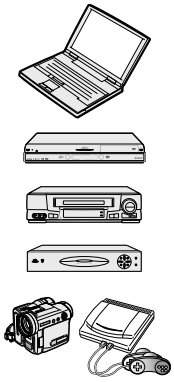
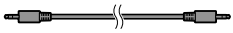
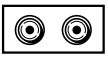
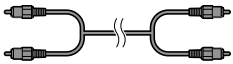
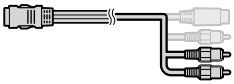
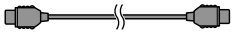
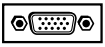
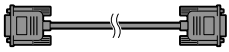
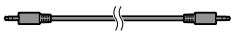
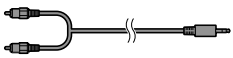
つづく

外部機器と接続する（つづき）

接続機器	接続機器側端子	変換ケーブル/接続ケーブル	本体側端子
映像機器	HDMIデジタル出力端子	HDMI ケーブル（市販品） 	HDMI *KG-PH201WX のみ
	コンポーネント映像出力端子	3RCA/ミニD-sub15ピン変換ケーブル（市販品） 	COMPUTER/ COMPONENT 1, 2 
	S映像出力端子	S映像ケーブル（市販品） 	S-VIDEO
	映像出力端子	映像ケーブル（市販品） 	VIDEO
カメラ、ゲーム機	コンポーネント映像出力端子	専用ケーブル：3RCA/ミニD-sub15ピン変換ケーブル（市販品） 	COMPUTER/ COMPONENT 1, 2 
	S映像出力端子	専用ケーブル 	S-VIDEO
	映像出力端子	専用ケーブル 	VIDEO

メモ

- HDMI (高精細度マルチメディアインターフェース)は、高解像度映像信号、多チャンネル音声信号、双方向制御信号をすべて1本のケーブルで提供できるデジタルAVインターフェースです。
- HDCP（広帯域デジタルコンテンツ保護)システムと互換性があるため、デジタル映像信号は伝送時に低下することなく、高品質映像を簡単な接続で楽しむことができます。
- HDMI端子はCEC信号はサポートしていません。
- COMPUTER/COMPONENT 2端子を、MONITOR OUT端子として使用することもできます。この端子を入力端子として使用する場合は、外部機器に接続する前に「COMPUTER2選択」を「入力」に設定します。（56ページ）

接続機器	接続機器側端子	変換ケーブル/接続ケーブル	本体側端子
音声機器 	φ3.5 mm 音声出力端子	音声ケーブル（φ3.5 mmステレオミニジャック、市販品） 	AUDIO 1
	音声出力端子 	音声ケーブル（市販品） 	AUDIO 2
	音声出力端子	専用ケーブル 	
	HDMI 出力端子	HDMIケーブル（市販品） 	HDMI *KG-PH201WXのみ
モニター	RGB映像入力端子 	RGBケーブル（付属品または市販品） 	MONITOR OUT
アンプ、オーディオ機器	φ3.5 mm 音声入力端子	音声ケーブル（φ3.5 mmステレオミニジャック、市販品） 	AUDIO OUT
	音声入力端子	音声ケーブル（RCA/φ3.5 mmステレオミニジャック、市販品） 	

メモ

- MONITOR OUT端子を、COMPUTER/COMPONENT 2端子として使用することもできます。この端子を出力端子として使用する場合は、外部機器に接続する前に「COMPUTER2選択」を「モニター出力」に設定します。（56ページ）
- コンピュータ音声ケーブルはφ3.5ステレオミニタイプ（市販品）をご使用ください。モノラル音声ケーブルを使用した場合、ステレオ音声ケーブルに比べ音量レベルが約半分になります。
- 入力切換リストでAUDIO 1、AUDIO 2、HDMIから選択できます。（32ページ）
- RGB信号およびコンポーネント信号をモニター出力することができます。HDMI入力映像信号は出力されません。

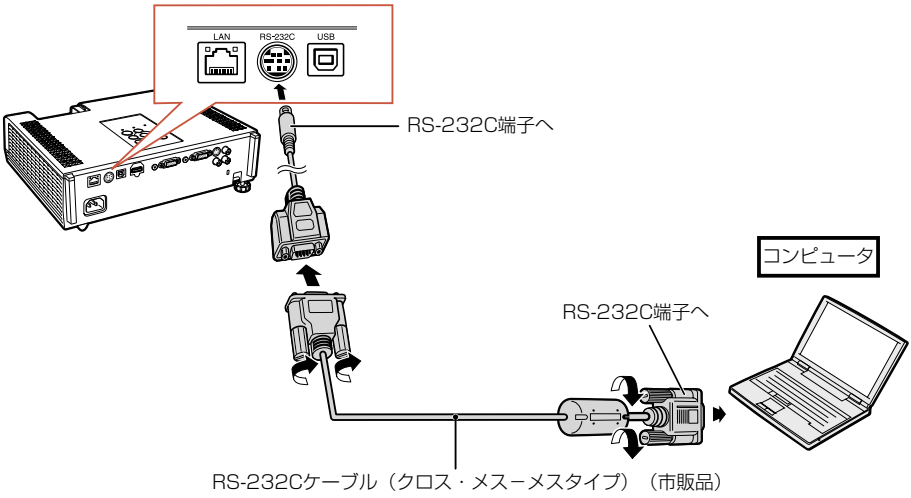
本機をHDMI機器に接続する際、次の信号が処理できます。

- 映像信号： 詳しくは、72ページの「入力信号（推奨信号）について」リストの「HDMI」を参照してください。
- 音声信号： リニアPCM音声
- サンプリング周波数： 48kHz/44.1kHz/32kHz

プロジェクターをコンピュータで制御する

プロジェクターのRS-232C端子とコンピュータのシリアル（RS-232C）ポートを接続すると、コンピュータからプロジェクターを操作することができます。

コンピュータをRS-232Cケーブルと DIN-D-sub RS-232Cアダプターを使って接続するとき



メモ

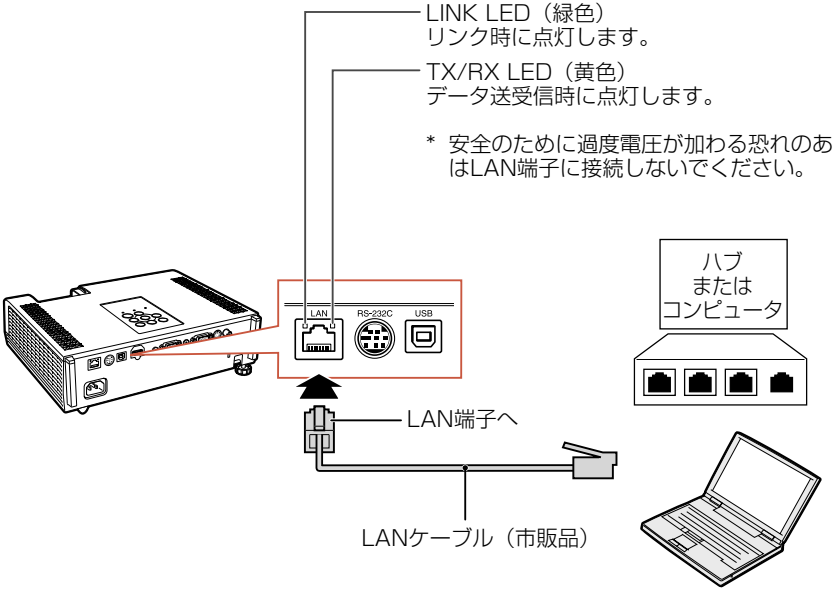
- RS-232C端子からの制御は、お使いのコンピュータポートが正しく設定されていないと機能しない場合があります。詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- RS-232Cの仕様とコマンドについては　ホームページより「セットアップ説明書」をダウンロードして下さい。
  詳細説明がご覧いただけます。

  http://www.taxan-projector.jp/support/download/index.html

お知らせ

- コンピュータ側のシリアル（RS-232C）ポート以外には接続しないでください。コンピュータまたは、プロジェクターが破損する恐れがあります。
- コンピュータの電源が入っているときにRS-232Cケーブルを抜き差ししないでください。コンピュータの故障の原因になることがあります。

プロジェクターのＬＡＮ端子にＬＡＮケーブルを接続するとき



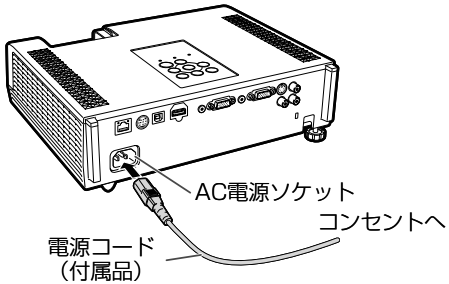
メモ

- LANケーブルはカテゴリー5を使用してください。
- コンピュータと本機を1対1で接続する場合には、クロスタイプのケーブルを使用してください。
- ハブに本機を接続する場合には、ストレートタイプのケーブルを使用してください。

電源コードを接続する

プロジェクターの背面にあるAC電源ソケットに電源コードを接続する

- 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
- アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。



電源の入れかた / 切りかた

電源を入れるとき

操作を始める前に、外部機器との接続・電源コードの接続を済ませておいてください。（23〜27ページ）

レンズシャッターを開き、本体のSTANDBY/ONまたはリモコンのONを押す

- 電源表示が緑色で点灯します。
- ランプが点灯するとランプ表示が緑色点灯します。ランプ表示が緑色点灯してから、プロジェクターの操作を始めてください。

メモ

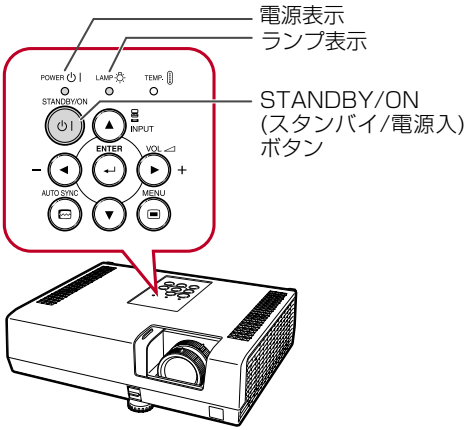
- **ランプ表示について**
  動作状況を以下のようにお知らせします。
  緑色点灯：ランプ点灯中
  緑色点滅：ランプ起動中
  赤色点灯：ランプが正常に起動しない（点灯しない）/ランプ交換
- 電源を入れ、ランプが起動してから約１分間は、まれに投映画像がちらつくことがあります。これはランプ制御回路が出力を安定させるための動作であり、故障ではありません。
- プロジェクターを待機状態にした直後に再び電源を入れると、ランプ（光源）が起動するまで多少時間がかかる場合があります。
- システムロックが設定されているときは、キーコード入力画面が表示されます。解除するには、設定したキーコードを入力する必要があります。詳しくは55ページをご覧ください。

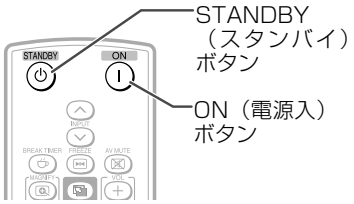
電源を切る（待機状態にする）とき

本体のSTANDBY/ONまたはリモコンのSTANDBYを押し、確認画面が表示されている間にもう一度、同じボタンを押す

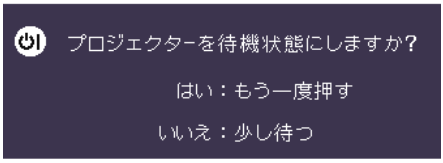
お知らせ

- **「自動復帰モード」が「入」に設定されているとき：**
  プロジェクターが電源オン状態で電源コードをコンセントから抜いたとき、あるいはブレーカーを切った場合、再び電源コードをコンセントに差し込む、またはブレーカーを入れたときにプロジェクターは自動的に起動します。（54ページ）





画面表示（確認画面）



お知らせ

- **ダイレクトパワーオフ機能：**
  本機が作動中であっても電源コードを抜くことができます。

投映のしかた

セットアップガイドについて

電源を入れるとセットアップガイド画面が表示されます。ここでは投映に必要な基本的な設置・設定の手順をお知らせします。

ガイド項目
1 ピント合わせ（FOCUS）
2 投映角度調整（HEIGHT ADJUST）
3 画像の大きさ調整（ZOOM）

セットアップガイド画面を終了するときはENTERを押す

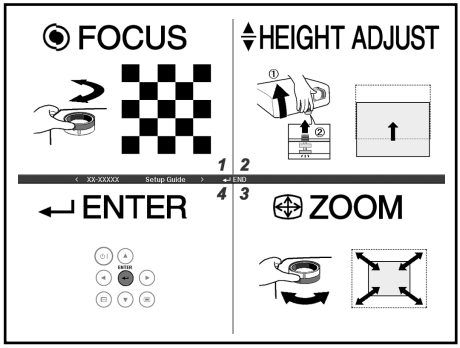
メモ

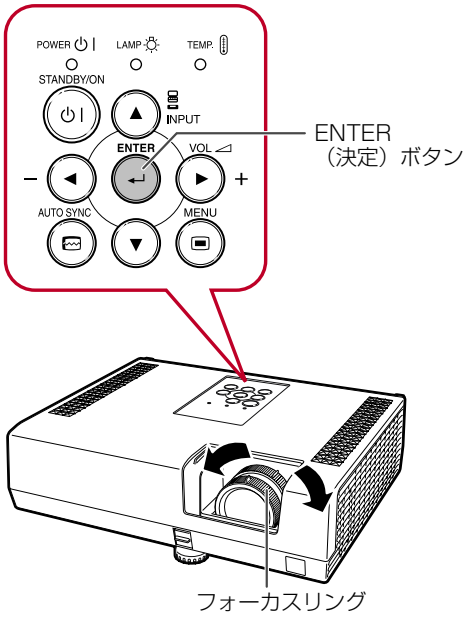
- セットアップガイド画面は、

1 FOCUS → 2 HEIGHT ADJUST
4 ENTER ← 3 ZOOM

の順番で自動的に切り換わりますが、表示されている項目に関わらず、ピント合わせ、投映角度調整、画像の大きさ調整を行うことができます。
- 本体の電源を入れたときにセットアップガイド画面を表示させたくない場合は、「メニュー」－「表示設定」－「セットアップガイド」を「切」に設定して下さい。（52ページ）

セットアップガイド画面





投映画像を調整する

1 投映映像のピントを調整する

フォーカス（ピント）調整は本体で行います。

画面を見ながらフォーカスリングをまわして調整する

- 調整にはフォーカスリングのつまみを使用すると便利です。

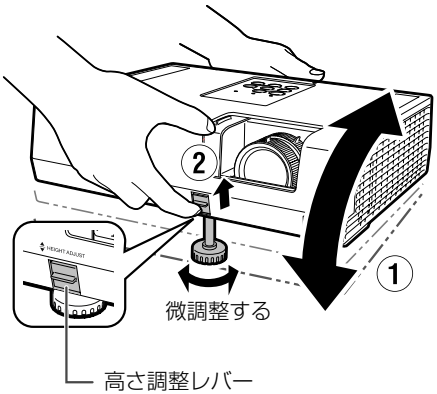
つづく

投映のしかた（つづき）

2 アジャスターを使って投映角度を調整する

スクリーンに傾斜があるときや、設置面が少し傾いているときなど、アジャスターを使ってプロジェクターの傾きを調整することができます。

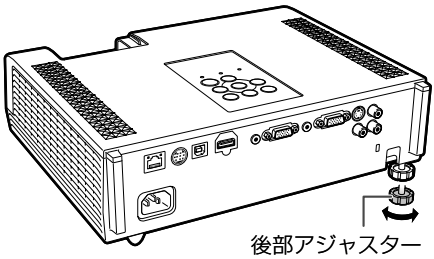
また、プロジェクターよりスクリーンが高い位置にあるときは、上に傾けることで投映画面の位置を高くすることができます。



1 高さ調整レバーを引き上げたまま、プロジェクターを持ち上げて高さ調整する

2 お好みの高さになったところで、高さ調整レバーから手を離す

- プロジェクターは水平に置いた状態から9度まで角度調整することができます。



3 左右の傾きを補正するときは後部アジャスターで調整する

- 設置位置から±2度補正することができます。

お知らせ

- アジャスターが出ている状態で、過度な力を加えないでください。アジャスターが破損するなど、故障の原因となります。
- プロジェクターを下げる際には、アジャスターとプロジェクターのすき間に指を挟まないようにご注意ください。
- プロジェクターはしっかり持ってお取り扱いください。
- レンズ部を持たないでください。

メモ

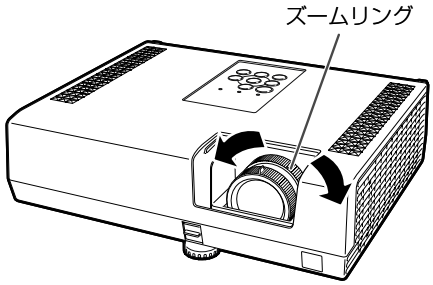
- 投映角度を調整すると投映画像が台形に歪みます。補正する場合は台形補正機能を設定します。詳しくは31、51ページをご覧ください。

3 投映映像の大きさを調整する

ズーム操作は本体で行います。

ズームリングをまわして拡大/縮小する

- 調整にはズームリングのつまみを使用すると便利です。



画面の台形歪みを補正する（台形補正）

画面の台形歪み補正が行えます。

メモ

※台形補正とは
- 映像をスクリーンに対して上下から角度をつけて投映すると、画像が台形に歪みます。この台形の歪みを補正する機能が台形補正です。
- 台形補正で補正できる角度は、スクリーンに対して上下±約40度までです。
  画面サイズ：「標準」（コンピュータ入力信号の場合）/「ズーム」（ビデオ入力信号の場合）

1 KEYSTONEを押す

- 台形補正画面になります。
- 本体の**KEYSTONE**でも表示できます。

2 ▲/▶または◀/▼を押し、調整する

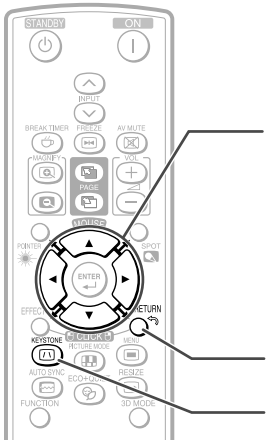
- 本体のカーソルボタンを使って台形補正値を調整することもできます。

メモ

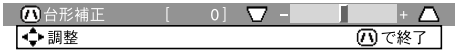
- 台形補正調整を取り消すときは、台形補正画面が表示されている間に**RETURN**を押します。

3 KEYSTONEを押す

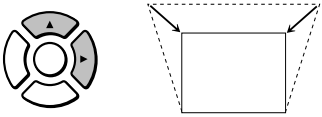
- 台形補正画面が解除されます。



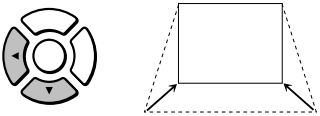
画面表示（台形補正画面）



上辺を縮める（補正値を＋方向へ）



下辺を縮める（補正値を－方向へ）



お知らせ

- 台形補正を行うと、調整中、直線や表示された映像の端がギザギザになっているように見えることがあります。

つづく

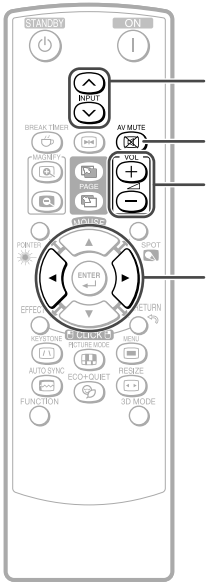
投映のしかた（つづき）

入力を切り換える

接続した機器にあわせて、入力を選択します。

INPUT ∧ / ∨を押して、入力切換リストを表示する。

INPUT ∧ / ∨を使用して入力モードを選択し、◀/▶で音声入力端子を選択する。



本体の音量を調整する

リモコンのVOL +/−または本体の−◀/▶+を押し、スピーカーの音量を調整する

メモ

- **VOL-/-◀**を押すと音量が小さくなります。
- **VOL+/▶+**を押すと音量が大きくなります。
- 外部機器接続時は、外部機器の音量が調整できます。
- 外部機器接続時、本体のスピーカーから出力される音声を消したいときは、「メニュー」－「本体設定」－「スピーカー」で「切」に設定します。（54ページ）

画面表示

投映した映像と音声を一時的に消す

映像と音声を一時的に消したいときはリモコンのAV MUTEを押すか、レンズシャッターを閉じる

メモ

- もう一度**AV MUTE**を押すと、投映画像に戻ります。
- レンズシャッターを閉じると、プロジェクターはAVミュートモードに設定され、約30分後に自動的に電源がオフになります。

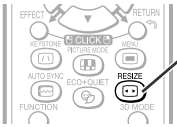
画面表示

入力信号に合わせた画面サイズを選ぶ

入力された信号の種類に合わせて、お好みの画面サイズに切り換えることができます。表を参考に最適な画面サイズを選んでください。

RESIZEを押す

• メニューで設定する場合は51ページを参照してください。

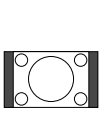
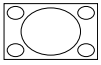
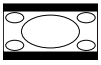
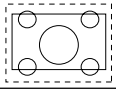
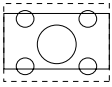
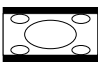
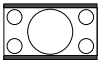
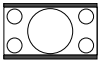


RESIZE（画面サイズ切換）ボタン

KG-PH201WXの場合

コンピュータ

		標準	フル	リアル	16:9
縦横比4：3	SVGA (800 × 600)	1068 × 800	1280 × 800	800 × 600	1280 × 720
	XGA (1024 × 768)			1024 × 768	
	SXGA (1152 × 864)			1152 × 864	
	SXGA+ (1400 × 1050)			1400 × 1050	
その他	SXGA (1280 × 1024)	1000 × 800		1280 × 1024	
	1280 × 720	1280 × 720		—	—
	1360 × 768	1280 × 722		1360 × 768	
	1366 × 768	1280 × 720		1366 × 768	
	1280 × 768	1280 × 768		—	1280 × 720
	1280 × 800	1280 × 800	—		

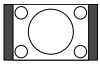
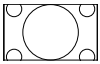
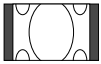
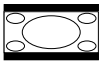
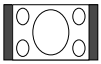
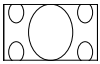
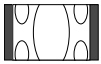
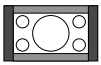
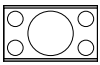
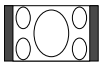
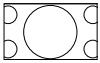
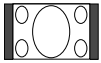
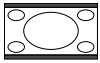
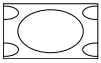
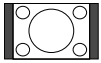
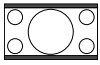
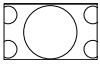
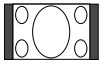
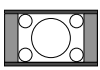
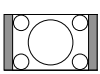
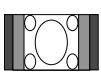
入力信号		表示イメージ			
コンピュータ	画像タイプ	標準	フル	リアル	16:9
XGAまたは XGAより 解像度が低い	縦横比 4:3				 *1
XGAより 解像度が高い				 *3	
SXGA (1280 × 1024)	縦横比 5:4				 *1
1280 × 720	縦横比 16:9	*1		—*2	—*2
1360 × 768 1366 × 768	縦横比 16:9				
1280 × 768	縦横比 15:9	*1		—*2	 *1
1280 × 800	縦横比 16:10		—*2		 *1

■ : マスクされ映像がない部分
⬚ : パネルからはみ出た信号部分
*1 これらの画像でイメージシフト機能を使用できます。
*2 標準モードと同じになります。
*3 SXGA+入力の場合です。

つづく

投映のしかた（つづき）

DTV／ビデオ

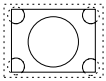
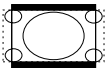
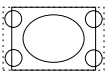
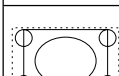
入力信号		表示イメージ			
DTV/ビデオ	画像タイプ	ズーム	エリアズーム	Vーストレッチ	16:9
480I, 480P, 576I, 576P, NTSC, PAL, SECAM	縦横比 4:3				 *1
	スクイーズ				*1
	レターボックス				*1
720P, 1035I, 1080I, 1080P	縦横比 16:9	*1			——*2
	縦横比 16:9	 *1			
540P	縦横比 16:9	 *1			
	縦横比 16:9 （16:9での4:3縦横比）	 *1			

■ : マスクされ映像がない部分
▭ : 元の信号自体に映像がない部分
*1 これらの画像でイメージシフト機能を使用できます。
*2 ズームモードと同じになります。

KG-PH202Xの場合

コンピュータ

		標準	フル	リアル	ボーダー	16:9
縦横比4：3	SVGA (800 × 600)	1024 × 768	—	800 × 600	768 × 576	1024 × 576
	XGA (1024 × 768)			—		
	SXGA (1152 × 864)			1152 × 864		
	UXGA (1600 × 1200)			1600 × 1200		
その他	SXGA (1280 × 1024)	968 × 768	1024 × 768	1280 × 1024	720 × 576	
	1280 × 720	1024 × 576		1280 × 720	—	—
	1360 × 768	1024 × 578		1360 × 768	—	—
	1366 × 768	1024 × 576		1366 × 768	—	—
	1280 × 768	1024 × 614		1280 × 768	960 × 576	1024 × 576
	1280 × 800	1024 × 640		1280 × 800	922 × 576	

入力信号		4:3スクリーン用			16:9スクリーン用	
コンピュータ	画像タイプ	標準	フル	リアル	ボーダー	16:9
XGAまたは XGAより 解像度が低い	縦横比 4:3		—*2		*1	*1
XGA				—*2		
XGAより 解像度が高い						
SXGA (1280 × 1024)	縦横比 5:4					
1280 × 720	縦横比 16:9	*1			—*2	—*2
1360 × 768 1366 × 768						
1280 × 768	縦横比 16:10	*1			*1	*1
1280 × 800						

■ : マスクされ映像がない部分
⬚ : パネルからはみ出た信号部分
*1 これらの画像でイメージシフト機能を使用できます。
*2 標準モードと同じになります。

つづく

投映のしかた（つづき）

DTV／ビデオ

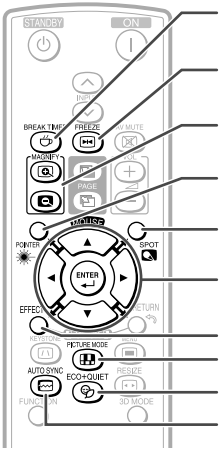
入力信号		4:3スクリーン用			16:9スクリーン用	
DTV/ビデオ	画像タイプ	ズーム	エリアズーム	Vーストレッチ	標準	16:9
480I, 480P, 576I, 576P, NTSC, PAL, SECAM	縦横比 4:3				*1	*1
	スクイーズ				*1	*1
	レターボックス				*1	*1
720P, 1035I, 1080I, 1080P	縦横比 16:9	*1			—*2	—*2
540P	縦横比 16:9					
	（16:9での4:3縦横比）	*1				

■ : マスクされ映像がない部分
▭ : 元の信号自体に映像がない部分
*1 これらの画像でイメージシフト機能を使用できます。
*2 ズームモードと同じになります。

著作権について

- 本機のRESIZE（画面サイズ切換）機能を使うとき、テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズ（表示イメージ）を選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。この点にご留意の上、画面サイズ（表示イメージ）を選択してください。
- 映像を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、RESIZE（画面サイズ切換）機能やキーストーン補正機能を利用して映像の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

リモコンで投映画像を操作する



休憩時間表示を設定する

1 **BREAK TIMERを押す**

・休憩時間のカウントダウンが始まります。

画面表示

2 **▲/▼/◀/▶ボタンで休憩時間の長さを調整する**

- **▲ または ▶ で増える**
  5分 → 6分 → 60分
- **◀ または ▼ で減る**
  4分 → 3分 → 1分

・設定は1分単位で設定できます。（最大60分）

休憩時間表示を解除したいとき

BREAK TIMERを押す

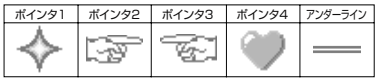
メモ

・自動同期調整中、静止画、AVミュート、入力サーチを行っているときは、休憩時間表示が働きません。

ポインタを使用する

1 **POINTERを押す。リモコンの▲/▼/◀/▶を押して、ポインタを動かしてください。**

・**EFFECT**を押すたびにポインタアイコンの形状が変更します。（5種類）



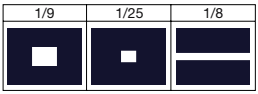
2 **もう一度POINTERを押す。**

・ポインタが消えます。

スポット機能を使用する

1 **SPOTを押す。リモコン▲/▼/◀/▶を押して、スポットエリアを動かしてください。**

・**EFFECT**を押すたびにスポットエリアサイズが変更します。（3種類）



2 **もう一度SPOTを押す。**

・スポットエリアが消えます。

消費電力を低減する(「エコ＋静音」モード)

ECO+QUIETを押すたびに「エコ＋静音」モードの入と切が交互に切り換わります。

・「エコ＋静音」モードを「入」にすると消費電力が低減すると同時にファン音も小さくなります。また、ランプ寿命が長くなります。（明るさも低減します。）

メモ

・エコ+静音モードについて詳しくは、48ページの「ランプ設定」をご覧ください。

つづく

リモコンで投映画像を操作する（つづき）

コンピュータから入力された画面を自動同期調整する（自動同期調整機能）

本体起動後に新たな映像信号を検出すると、自動同期調整機能が働きます。AUTO SYNCを押すと強制的に自動同期調整機能が働きます。

メモ

- 自動同期調整を行っても、お客様の意図した映像にならない場合は、コンピュータの画像を調整する（54ページ）から手動で同期調整を行ってください。

投映中の画像を静止画にする

1 FREEZEを押す

- 投映中の画像が静止画になります。

2 FREEZEを再度押す

- 接続した機器の現在の画像に戻ります。

投映する画像に合わせた映像モードを選ぶ

映画やゲームなど投映する画像に合わせた映像モードを選ぶことができます。

PICTURE MODEを押す

- 押すたびに

↱標準→プレゼンテーション→シネマ→ゲーム→sRGB*↰

の順番で切り換わります。

* 「sRGB」はRGB信号が入力されているときのみ表示されます。

メモ

- 映像モードについて、詳しくは46ページをご覧ください。

画像の一部を拡大表示する

グラフや表など画像の一部を拡大することができます。より詳しい説明をするときに便利です。

1 リモコンのMAGNIFY (🔍) を押す

- ×2の倍率に拡大されます。
- (🔍)（拡大）または (🔍)（縮小）で、投映画像の拡大、縮小が行えます。

メモ

(🔍) を押す →

×1 ×2 ×3 ×4

← (🔍) を押す

- ▲/▼/◀/▶を使って拡大部分の位置を移動することができます。

2 リモコンのRETURNを押し解除する

- 倍率は×１に戻ります。

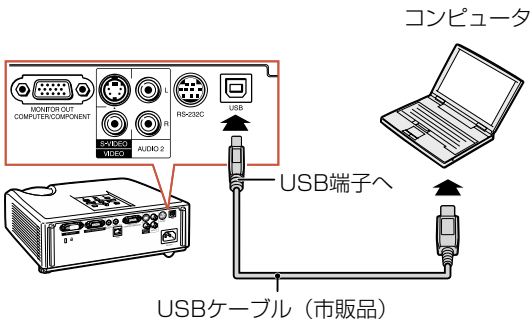
メモ

- 入力信号によって選択できる拡大倍率は異なります
- 次の場合、拡大された画像がもとの大きさ（×1）に戻ります。
  - 入力切換を行ったとき
  - **RETURN**を押したとき
  - 入力信号を変更したとき
  - 入力信号の解像度やリフレッシュレート（垂直周波数）が変わったとき
  - 画面サイズを変更したとき

リモコンをワイヤレスマウスとして使用する

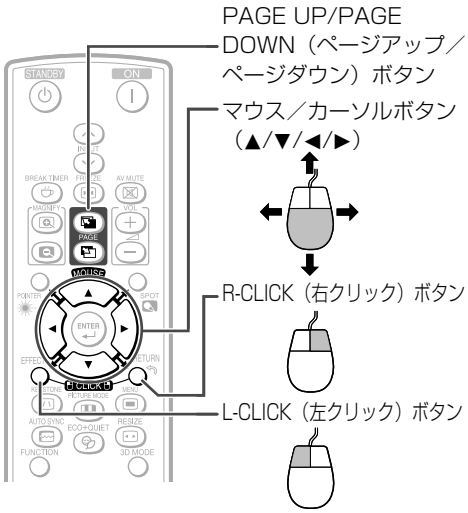
市販のUSBケーブルで本体とコンピュータを接続すると、コンピュータのマウス操作を付属のリモコンで行うことができます。

USB接続



接続した後は、マウスポインタを次のように操作できます。

- カーソルを動かすとき
  マウス/カーソルボタン（▲/▼/◀/▶）を押します。
- 左クリックするとき
  L-CLICKを押します。
- 右クリックするとき
  R-CLICKを押します。
- クリックボタンがひとつのマウス（Macintoshなど）の場合
  L-CLICKまたは**R-CLICK**を押します（**L-CLICK**と**R-CLICK**は同じ働きをします。）
- ページアップやページダウンをするとき
  PAGE UPまたは**PAGE DOWN**を押します（コンピュータの「PAGE UP」「PAGE DOWN」ボタンと同じ働きをします。）



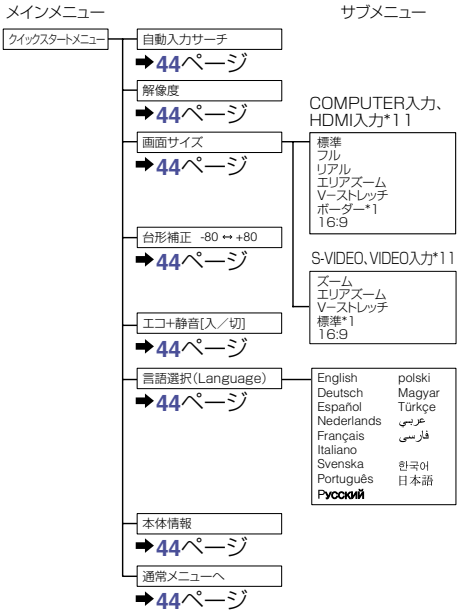
メモ

- この機能はMicrosoft® Windows® OSとMac® OSでのみ働きます。
- ただし、OSがWindows® 95以前、Windows® NT4.0以前または、Mac® OS 8.5以前の場合は、USBをサポートしていないため働きません。
- コンピュータ側でUSB接続が認識されたことを確認してください。
- メニュー画面が表示されているとマウス機能の操作はできません。

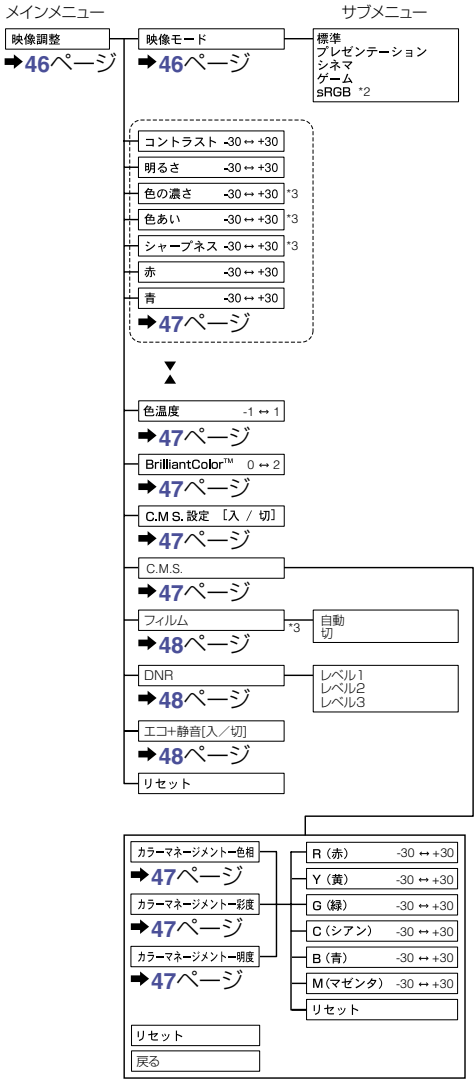
メニュー内容一覧

次の項目が本機で設定できます。

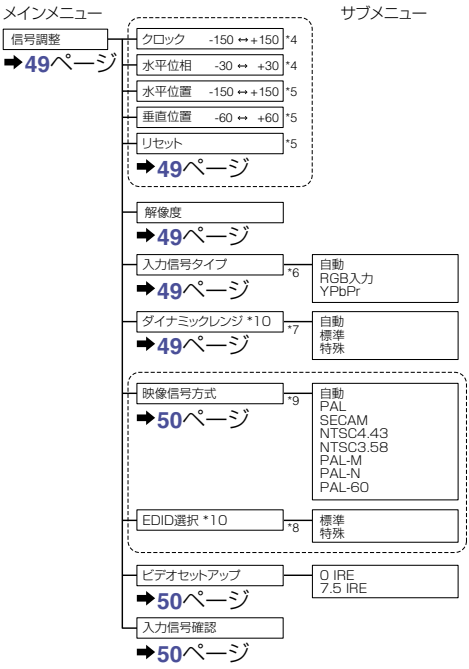
クイックスタートメニュー



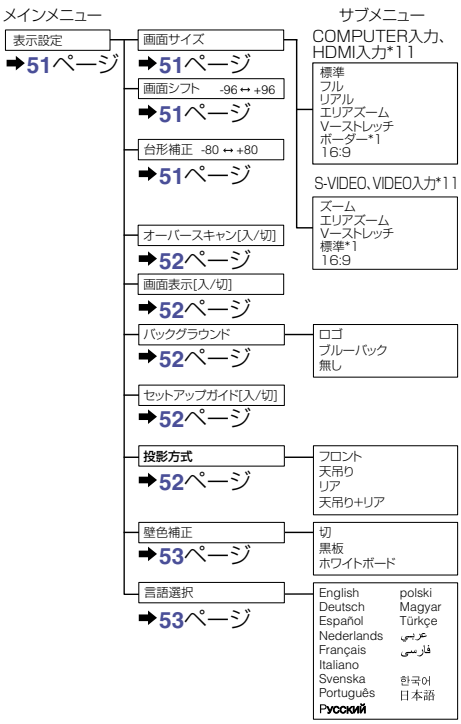
「映像調整」メニュー



「信号調整」メニュー

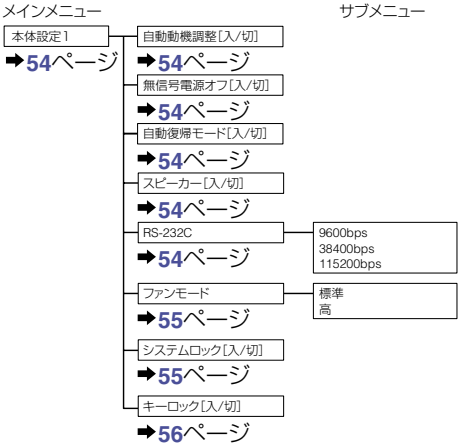


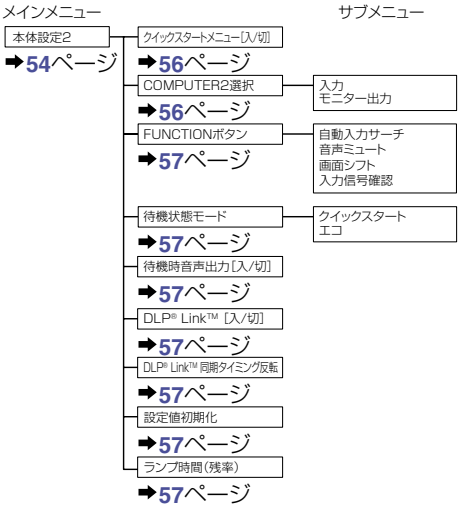
「表示設定」メニュー



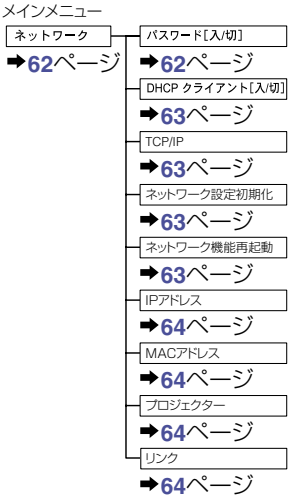
メニュー内容一覧（つづき）

「本体設定1／2」メニュー





「ネットワーク」メニュー



*1 KG-PH202Xのみ。

*2 COMPUTER入力またはHDMI入力にRGB信号が入力されているときに設定できる項目です。

*3 COMPUTER入力またはHDMI入力にコンポーネント信号が入力されているとき、またはS-VIDEO入力、VIDEO入力を選択しているときに設定できる項目です。

*4 COMPUTER/COMPONENT 1または2にRGB信号が入力されているときに設定できる項目です。

*5 COMPUTER/COMPONENT 1、2、HDMIのいずれかで入力されているときに設定できる項目です。

*6 COMPUTER/COMPONENT 1、2、HDMIのいずれかを選択しているときに設定できる項目です。

*7 HDMIを選択しているときに設定できる項目です。

*8 COMPUTER/COMPONENT 1または2を選択しているときに設定できる項目です。

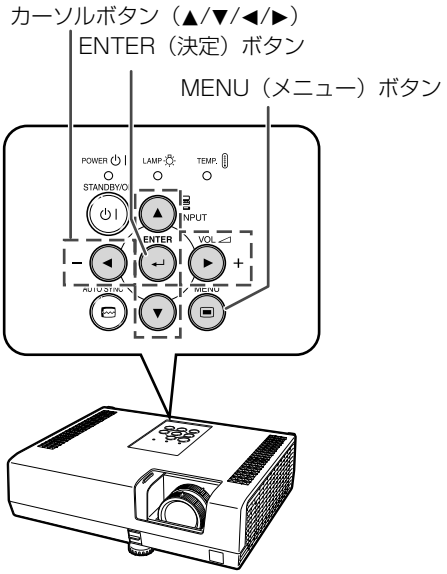
*9 S-VIDEOまたはVIDEOを選択しているときに設定できる項目です。

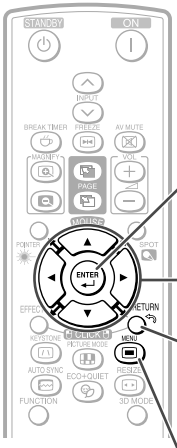
*10 KG-PH201WXのみ

*11 入力される信号によって選択できる項目は異なります。

メニュー操作のしかた

最も頻繁に使用される機能を集めたクイックスタートメニュー、または詳細な設定や調整ができる通常メニューから選択します。





メニュー選択（クイックスタートメニュー）

• 本体のボタンを使って操作することもできます。

1 MENUを押す

• 選んでいる入力モードの「クイックスタートメニュー」画面が表示されます。

2 ▲または▼を押し、調整するメニュー項目を選び、ENTERを押す

3 ▲/▼/◀/▶を押し、選択した項目を調整し、ENTERを押す

例

お知らせ

• 詳細な設定と調整を表示するには、「通常メニューへ」を選択します。**ENTER**を押すと通常メニュー画面が表示されます。
• クイックスタートメニューを表示しない場合は、「通常メニューへ」 - 「本体設定2」 - 「クイックスタートメニュー」を「切」に設定します。（52ページ）

つづく

メニュー操作のしかた（つづき）

クイックスタートメニュー

クイックスタートメニューでは次の項目が設定できます。

選択項目	内容
自動入力サーチ	信号が入力されている入力を自動に検出し、切り替えます。 検出中に何か操作ボタンを押すと、検出を中止します。
解像度	解像度を手動で変更します。 自動判別された解像度では映像と画面のサイズが一致しない場合は、この機能を使用します。（49ページ）
画面サイズ	画面サイズを変更します。 映像が縦/横に伸びたり、映像の端が表示されない場合は、この機能を使用します。（51ページ）
台形補正	画面の台形歪みを補正します。 スクリーンに対して上下から角度をつけて投映すると、画像が台形に歪みます。この歪みを解消するには、この機能を使用します。（51ページ）
エコ + 静音	「入」にすると、冷却ファンの騒音と消費電力を低減し、ランプ寿命を長くできます。 (この設定は、入力毎、映像モード毎に記憶されます) (48ページ)
言語選択(Language)	画面上に表示される言語を選択します。（53ページ）
本体情報	入力信号情報、ランプ使用時間などを確認できます。
通常メニューへ	より詳細な設定/調整ができる通常メニューに切り替えます。

メモ

- 画面サイズの設定は、入力モードごとに記憶されます。
- エコ + 静音の設定は、入力モードごと、映像モードごとに記憶されます。

メニュー選択（通常メニュー）

例：「明るさ」を調整するとき

- 本体のボタンを使って操作することもできます。

1 MENUを押す

- 「クイックスタートメニュー」画面が表示されます。

2 ▲または▼を押して「通常メニューへ」を選択する

3 ▶または◀を押し、調整するメニュー項目「映像調整」を選ぶ

お知らせ

- 「本体設定2」-「クイックスタートメニュー」が「入」に設定されている場合は、MENUを押すと「クイックスタートメニュー」画面が表示されます。

COMPUTER（RGB）入力の「映像調整」メニュー画面例

4 ▲または▼を押し、調整する項目「明るさ」を選ぶ

・選ばれた調整項目の色が変わります。

調整可能項目

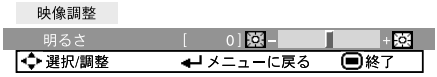
投映している画像を見ながら調整したいとき

ENTERを押します。

・選んだ項目（例：「明るさ」など）が画面下へ単独表示されます。
・この表示の状態で▲または▼を押すと次の項目（「明るさ」の次は「赤」）が表示されます。

ENTERを押す

＜単独表示＞



メモ

・再度**ENTER**を押すと、前の画面に戻ります。

5 ◀または▶を押し、選んだ項目の調整（設定）をする

・調整した内容が保存されます。

6 MENUを押す

・メニュー画面が消えます。

メモ

・自動同期調整中、休憩時間表示中、静止画、AVミュート、入力サーチを行っているときは、**MENU**が働きません。

投映した映像を調整・設定する（映像調整メニュー）

操作方法 ⇒ 44ページ参照

▶ ページ1

▶ ページ2

① 映像モードを選ぶ

選択項目	内容	映像モードを選んだときの初期設定内容		
		色温度	BrilliantColor™	エコ+静音
標準	標準の設定です。	0	1	切
プレゼンテーション	明るくメリハリを効かせたいときに設定します。	0	2	切
シネマ	自然な色合いで投映したいときに設定します。	-1	0	入
ゲーム	くっきり感を重視した映像を投映したいときに設定します。	0	1	切
*sRGB	コンピュータの映像を忠実に再現したいときに設定します。	-	-	切

- 「sRGB」はRGB信号が入力されているときのみ表示されます。
- 映像調整メニュー内の各項目は、お好みに応じた組み合わせに変更できます。変更した内容はそのまま記憶されます。

メモ

- リモコンの**PICTURE MODE**でも選択できます。（38ページ）
- ＊sRGBはIEC(International Electrotechnical Commission)が規定した色再現性の国際規格です。一定の色の表現領域を定めたもので、「sRGB」モードを選択すると、原画像に基づいた自然な色合いで表示します。
  sRGB機能についてのくわしい情報は、http://www.srgb.com/を参照してください。
  「sRGB」を選択しているとき、「赤」「青」「色温度」「BrilliantColor™」は設定できません。

お知らせ

- 「sRGB」を選択すると投映画面が暗くなりますが、故障ではありません。

② お好みの映像に調整する

調整項目	◀ボタン	▶ボタン
コントラスト	映像の明部と暗部の差を弱くする	映像の明部と暗部の差を強くする
明るさ	画像を暗くする	画像を明るくする
色の濃さ*1	色をうすくする	色を濃くする
色あい*1	紫がかった色あいにする	緑がかった色あいにする
シャープネス*1	画像の輪郭をやわらかくする	画像の輪郭をくっきりさせる
赤*2	赤みを弱くする	赤みを強くする
青*2	青みを弱くする	青みを強くする
BrilliantColor™*2 *3	効果を弱くします	効果を強くします

*1 RGB入力のときは表示されません。
*2 「sRGB」を選択しているときは、調整・設定は行えません。
*3 BrilliantColor™は、テキサス・インスツルメンツのBrilliantColor™テクノロジーを使用しており、設定値を大きくすることにより、色再現性を保ちながら高輝度な映像を表現します。

メモ

- 「sRGB」を選択しているときは、「赤」、「青」、「BrilliantColor™」、「色温度」は設定できません。
- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選び**ENTER**を押します。

③ 色味を変える（色温度設定）

選択項目	内容
-1	赤みがかった映像になります。（温かい感じの色にしたいとき）
0	↕
1	青みがかった映像になります。（すっきりした感じの色にしたいとき）

メモ

- 「色温度」の値は一般基準として示されているものです。

④ 色を調整する（C. M. S.）

色の構成要素となる6つの系統色のそれぞれを調整し、色相・彩度・明度を変化させます。

選択項目	内容
色相	系統色の色相を設定する
彩度	系統色の彩度を設定する
明度	系統色の明るさを設定する
リセット	「色相」、「彩度」、「明度」のすべての色の設定が工場出荷の状態にリセットされます。
戻る	「映像調整」メニュー画面に戻ります。

色相・彩度・明度の調整のしかた

1 映像調整メニューの「C.M.S.設定」で「入」を選び、ENTERを押す
2 映像調整メニューの「C.M.S.」を選び、ENTERを押す
3 ▲/▼を押し、「色相」「彩度」「明度」のいずれかを選択し、ENTERを押す
4 ▲/▼で系統色を選び、◀/▶で調整する

「色相」調整時の例

系統色	◀ボタン	▶ボタン
R（赤）	マゼンタに近づく	黄に近づく
Y（黄）	赤に近づく	緑に近づく
G（緑）	黄に近づく	シアンに近づく
C（シアン）	緑に近づく	青に近づく
B（青）	シアンに近づく	マゼンタに近づく
M（マゼンタ）	青に近づく	赤に近づく

- 「彩度」の場合、選んだ色を ◀：淡くします。 ▶：濃くします。
- 「明度」の場合、選んだ色を ◀：暗くします。 ▶：明るくします。
- 各系統色の調整値を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選び **ENTER** を押します。

つづく

投映した映像を調整・設定する（映像調整メニュー）（つづき）

⑤ フィルムモードを選択する

この機能では、DVDの映画など、24コマ／秒で投映されている画像を高画質再生します。

選択項目	内容
自動	自動で検出し高画質再生します。
切	フィルム機能を解除します。

メモ

- この機能は次の信号に使用できます。
  COMPUTER/COMPONENT 1または2入力：
  - 480I
  - 576I
  - 1035I
  - 1080I

  S-VIDEOまたはVIDEO入力：
  - 全信号

⑥ ノイズを軽減する（DNR）

デジタルノイズリダクション（DNR）を使うことで、微細なドットのちらつきやクロスカラーノイズを軽減できます。

選択項目	内　容
レベル1	DNRを働かせないとき
レベル2	映像がもっとも見やすくなるようにレベルを設定します。
レベル3	

メモ

次のような場合は「切」に設定します。
- 画像がぼやけて見えるとき
- 動きのある映像で輪郭や色が尾を引くように見えるとき
- 電波の弱いテレビ放送を投映しているとき

⑦ エコ + 静音を選択する

選択項目	明るさと消費電力
入	約65%
切	100%

メモ

- 「ランプ設定」を「入」に設定すると、「切」に比べてファン音と消費電力が低減します。投映画面の明るさも低減します。（上記表内を参照してください。）

入力信号に合わせた設定・調整を行う（信号調整メニュー）

操作方法 ⇒ 44ページ参照

① コンピュータの画面を調整する

自動同期調整で最適な画面が得られない場合は、信号調整機能を使用します。

選択項目	内容
クロック	垂直ノイズを調整します。
水平位相	水平ノイズを調整します（ビデオデッキのトラッキングと同様）。
水平位置	画面上の画像を左右に動かして中央に位置します。
垂直位置	画面上の画像を上下に動かして中央に位置します。

メモ

- すべての調整項目をリセットするには、「リセット」を選択して**ENTER**を押します。
- 「水平位置」と「垂直位置」の調整範囲は、コンピュータの画面解像度によって異なる場合があります。

② 解像度を変更する

通常、入力信号タイプが検出され、正しい解像度が自動的に選択されます。自動判別された解像度では映像と画面のサイズが一致しない場合は、手動で変更します。

メモ

- 現在選択されている入力信号については、50 ページの「入力信号を確認する」を参照してください。

③ 入力信号タイプを設定する

この機能では、COMPUTER/COMPONENT 1または2の入力信号タイプにRGBまたはコンポーネントが選択できます。

選択項目	内容
自動	RGBまたはコンポーネントの入力信号が自動的に認識されます。
RGB	RGB信号が入力される場合に設定します。
YPbPr	コンポーネント信号が入力される場合に設定します。

④ ダイナミックレンジを選択する

*KG-PH201WXのみ

HDMI対応機器の出力信号タイプとプロジェクターの入力信号タイプが一致しない場合には、最適な映像が表示されない場合があります。その場合には、「ダイナミックレンジ」を切り換えます。

選択項目	内容
自動	ほとんどの場合、「自動」を選択します。
標準	画面の黒レベルに濃淡の縞が発生したり、色が薄い場合には、最適な画質が得られる項目を選択します。
特殊	

メモ

- ダイナミックレンジは「HDMI」入力モードが選択されている場合のみに選択できます。

つづく

入力信号に合わせた設定・調整を行う（信号調整メニュー）（つづき）

⑤ 映像信号方式を設定する

映像信号入力方式は工場出荷時に「自動」に設定されていますが、映像信号によっては接続されている音声/映像機器からクリアな画面が受信されない場合があります。
その場合には、映像信号方式を切り換えます。

選択項目
自動
PAL
SECAM
*NTSC4.43
NTSC3.58
PAL-M
PAL-N
PAL -60

* PAL映像機器でNTSC信号を再生する際に使用します。

メモ

- 映像信号はS-VIDEOまたはVIDEOモードのみに設定できます。
- 「映像信号方式」を「自動」に設定すると、信号が一致しないためにクリアな映像が得られない場合があります。この場合には、映像源の信号の映像信号方式に切り換えます。

⑥ EDID を選択する

*KG-PH201WXのみ
EDID（Extended Display Identification Data）はコンピュータで正しい表示設定ができるデータです。コンピュータに希望する解像度がない場合は、EDID選択を切り換えます。これでも問題が解決しない場合は、コンピュータを再起動します。

選択項目	内容
標準	標準設定。
特殊	標準設定に希望する解像度がない場合に使用します。

⑦ ビデオセットアップを設定する

選択項目	内容
0 IRE	黒レベルを0 IREに設定します。
7.5 IRE	黒レベルを7.5 IREに設定します。

メモ

- この機能は次の信号に使用できます。
  COMPUTER/COMPONENT 1または2入力：
  - 480I

  S-VIDEOまたはVIDEO入力：
  - NTSC3.58

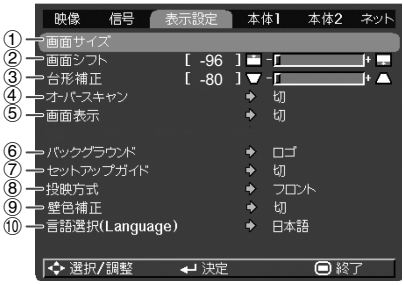
* 米国以外では 0 IREに設定します。

⑧ 入力信号を確認する

この機能を使用すると、現在の入力信号情報が確認できます。

表示のしかたを設定する（表示設定メニュー）

操作方法 ⇒ 44ページ参照



① 画面サイズを設定する

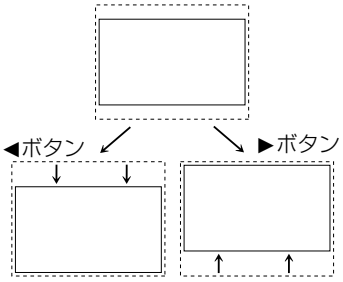
入力された信号の種類に合わせて、画像表示モードを切り換えることができます。

メモ

- 画面サイズについて詳しくは、33〜36ページをご覧ください。
- リモコンの**RESIZE**でも設定できます。（33ページ）

② 映像の位置を上下方向に調整する（画面シフト）

投映した映像を上下に移動することができます。

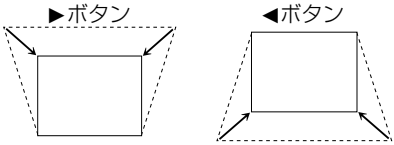


メモ

- 画面サイズの種類によっては、この機能は働きません。詳しくは、33〜36ページをご覧ください。

③ 画面の台形歪みを補正する

台形補正について詳しくは31ページをご覧ください。



メモ

- 台形補正できる角度は、スクリーンに対して±約40度までです。
  画面サイズ：「標準」（コンピュータ入力信号の場合）/「ズーム」（ビデオ入力信号の場合のとき）
- リモコンまたは本体の**KEYSTONE**でも台形補正を調整できます。

つづく

表示のしかたを設定する（表示設定メニュー）（つづき）

④ オーバースキャンを設定する

この機能では、オーバースキャンエリア（表示エリア）を設定できます。

選択項目	内容
入	入力エリアは画面の端がない状態で表示されます。
切	入力エリア全体が表示されます。

メモ

- この機能は次の信号に使用できます。
  COMPUTER/COMPONENT 1または2入力：
  - 480P
  - 540P
  - 576P
  - 720P
  - 1035I
  - 1080I/1080P
- 「切」を選択して画面の端にノイズが現れる場合は、機能を「入」に設定します。
- 36ページの「著作権について」を参照してください。

⑤ 画面に表示されている情報を表示しないように設定する（画面表示）

選択項目	内容
入	画面表示のすべてが表示されます。
切	入力モード表示、音量表示、AVミュート、静止画表示、自動同期調整表示、画面サイズ表示、映像モード表示、エコ+静音表示、画面拡大率表示、「無効なボタンが押されました。」は表示されません。

⑥ 無信号時やオープニング時に投映する画面を設定する（バックグラウンド設定）

選択項目	内容
ロゴ	ロゴ画面
ブルーバック	青い画面
無し	—

⑦ セットアップガイド表示を設定する

選択項目	内容
入	本体起動時にセットアップガイド画面が表示
切	セットアップガイド画面非表示

- セットアップガイド表示については、29ページをご覧ください。

⑧ 投映環境に合わせた投映方式を選択する

本機は投映する環境（場所）に合わせて映像を反転する機能を備えていますので、いろいろな対応が可能です。

選択項目	内容
フロント	通常映像（スクリーンの正面から投映するとき）
天吊り	上下反転された映像（プロジェクターを逆さまにしてスクリーンの正面から投映するとき）
リア	左右反転された映像（スクリーンの背面から投映したり、鏡を使って投映したとき）
天吊り+リア	左右／上下反転された映像（プロジェクターの映像を鏡を使って投映したとき）

投映方式について、22ページも合わせてご覧ください。

⑨ 壁色補正を選択する

スクリーンを使用しないで、色の付いた（白または濃い緑）表面または壁面に画像を投映します。

選択項目	内容
切	壁色補正を無効にします。
黒板	黒板（濃い緑）に画像を投映するのに適しています。
ホワイトボード	ホワイトボードに映像を投映するのに適しています。

⑩ 画面に表示する言語を選択する（言語選択）

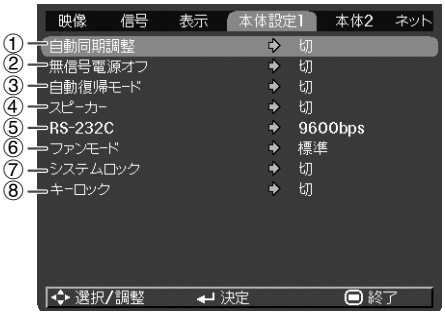
本機は画面表示の言語として16言語を切り換えることができます。

English	polski
Deutsch	Magyar
Español	Türkçe
Nederlands	عربي
Français	فارسی
Italiano	
Svenska	한국어
Português	日本語
Русский	

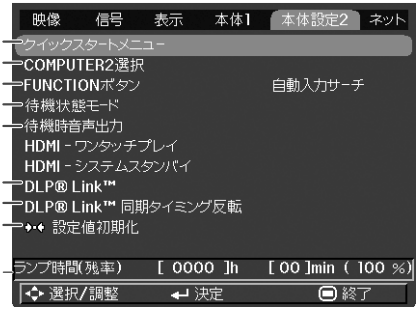
本体機能を設定する（本体設定メニュー）

操作方法 ⇒ 44ページ参照

► 本体設定 1



► 本体設定2



① コンピュータの画面を自動調整する（自動同期調整機能）

選択項目	内容
入	プロジェクターがコンピュータに接続されている状態で、プロジェクターの電源を入れたときや、入力を切り換えたときに、自動的に同期調整を行います。
切	自動同期調整を行いません。

メモ

- 自動同期調整はリモコンの**AUTO SYNC**を使って行うこともできます。
- 自動同期調整は投映するコンピュータの映像によっては時間がかかる場合があります。
- 自動同期調整を行っても、お客様の意図した映像にならない場合は、手動で同期調整（49ページ）を行ってください。

② 無信号状態が続いたときに電源を自動的に待機状態にする（無信号電源オフ機能）

選択項目	内容
入	15分以上入力信号が検出されないと、プロジェクターは自動的に待機状態になります。
切	無信号状態が15分以上続いても、電源「入」の状態を保持します。

メモ

- 無信号自動電源オフ機能を「入」に設定したときは、無信号状態が続いたとき、待機状態になる5分前になると、1分ごとに「●分後に待機状態」の表示がでます。

③ 自動復帰モード機能

選択項目	内容
入	プロジェクター電源オン状態で電源コードをコンセントから抜いたとき、あるいはブレーカーを切った場合、再び電源コードをコンセントに差し込む、またはブレーカーを入れたときにプロジェクターが自動的に起動します。
切	コンセントに電源コードを差し込んだりブレーカーを入れたりしても、プロジェクターが自動的に起動することはありません。

④ 内蔵スピーカーの入／切を設定する（スピーカー設定）

選択項目	内容
入	内蔵スピーカーから音声が出ます。
切	内蔵スピーカーから音声が出なくなります。

⑤ RS-232C の通信速度を設定する（RS-232C 設定）

プロジェクターとコンピュータの通信速度は同じ速度に合わせてください。

選択項目	内容
9600bps 38400bps 115200bps	通信速度が遅い ↕ 通信速度が速い

⑥ ファンモードを設定する

ファンの回転速度を設定します。

選択項目	内容
標準	標準的な環境に適しています。
高	標高約1500m以上でご使用になるときに設定します。

「ファンモード」を「高」に設定したときは、ファンの回転速度が速くなるためファン音が大きくなります。

⑦ プロジェクターを不正に使用できないようにする（システムロック設定）

システムロックを解除するには、設定したキーコードを入力します。**設定したキーコードは必ずメモしてください。**

お知らせ

- キーコードを忘れてしまった場合はお客様自身でのリセットができませんので、設定したキーコードは、必ずメモしてください。システムロックのリセットは保証期間内であっても有料修理となります。くわしくはカスタマーセンター（64ページ）にご相談ください。

■ キーコードを設定・変更する

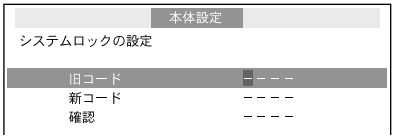
1 「システムロック」を選択し、ENTERまたは▶を押す

2 ▼を押し「次へ」を選び、ENTERを押す

- キーコード入力画面が表示されます。

3 リモコンまたは本体のボタンを押し、「旧コード」の欄に設定済みの4つのキーコードを入力する

- はじめて設定するときは、本体の▼を4回押してください。



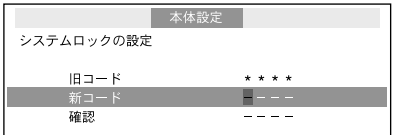
メモ

- 誤ったキーコードを入力すると、「旧コード」入力行のはじめに戻ります。
- 本機はあらかじめ本体の▼ボタン４つがキーコードとして設定されています。本体の▼ボタン４つは、キーコード入力画面を表示させないようにするコードです。

4 リモコンまたは本体のボタンを押し、「新コード」の欄に新しい4つのキーコードを入力する

メモ

- 次のボタンはキーコードとして設定することができません。：**STANDBY/ON（本体）、ON（リモコン）、STANDBY（リモコン）、ENTER、L-CLICK、R-CLICK/RETURN、MENU**
- **リモコンと本体のボタンは、同じ名称のボタンでも別のボタンとして認識されます。本体のボタンをキーコードに設定した場合は、リモコンでは解除することができません。**



5 「確認」欄にもう一度同じキーコードを入力する

メモ

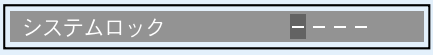
設定したキーコードを解除したいとき

- 手順4と手順5で本体の▼を4回押してください。

システムロックが設定されているとき

- 「システムロック」が設定されているときは、電源を入れたあとにキーコード入力画面が表示されますので、正しいキーコードを入力してください。キーコードを入力しないと、プロジェクターに信号を入力しても画像は投映されません。

キーコード入力画面



つづく

本体機能を設定する（本体設定メニュー）（つづき）

本体の操作ボタンをロックする（キーロック機能）

本体天面のボタンをロックし、使用中の誤操作やいたずらを防止することもできます。この機能は、メニュー画面を使用するか、本体で**ENTER**を押して設定します。

■ メニュー画面で設定する

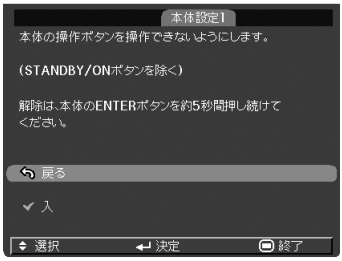
選択項目	内容
入	**STANDBY/ON**以外の本体のすべてのボタンをロックします。
切	キーロック機能を解除します。

■ 本体ボタンで設定する

操作ボタンをロックする

1 本体の電源が入っているときに、本体のENTERを約5秒間押し続ける

・キーロック機能画面が表示されます。



2 「入」を選択してENTERを押す

画面表示

キーロック ON

・キーロックをした状態で本機を操作したいときは、リモコンで操作してください。
・「起動中」と画面表示されているときにはキーロックの設定が行えません。

キーロックの解除のしかた

本体の電源が入っているときに、本体の**ENTER**を約5秒間押し続ける

画面表示

キーロック OFF

本体が待機状態のときに、本体の**ENTER**と**STANDBY/ON**を同時に約5秒間押し続けてもキーロックは解除できます。

お知らせ

・セットアップガイド表示中、メニュー画面表示中、スタンバイ中、起動中、入力切換中、自動同期調整中、フリーズ中、起動時システムロック画面表示中は、キーロックが設定できません。

⑨ クイックスタートメニューを選択する

選択項目	内容
入	**MENU**を押すとクイックスタートメニュー画面が表示されます。
切	**MENU**を押すと通常メニュー画面が表示されます。

⑩ COMPUTER2 を選択する

MONITOR OUT 端子を、COMPUTER/COMPONENT 2 端子として使用することもできます。端子を入力端子または出力端子として使用するかを選択します。

選択項目	内容
入力	端子は入力端子（COMPUTER/COMPONENT 2）として使用できます。
モニター出力	端子は出力端子（MONITOR OUT）として使用できます。

メモ

・これは、外部機器に接続する前に設定します。
・入力モードが「COMPUTER 2」の場合はこの設定は変更できません。

⑪ FUNCTION ボタンを設定する

リモコンの **FUNCTION** ボタンに次のいずれかの機能を指定することができます。指定された機能は **FUNCTION** を押すと実行できます。

選択項目	内容
自動入力サーチ	適切な入力モードを自動的に検索し、切り換えます。
音声ミュート	音声を一時的にオフにします。**FUNCTION**を再度押すと音声がオンになります。
画面シフト	投映された画像を垂直方向に移動します。（51ページ）
入力信号確認	入力信号確認が表示されます。

⑫ 待機状態モードを設定する

プロジェクターが待機状態のときに「エコ」に設定すると、消費電力が低減します。

選択項目	内容
エコ	プロジェクターが待機状態のときにモニター出力、RS-232C、ネットワーク機能がオフになります。
クイックスタート	プロジェクターが待機状態でもモニター出力、RS-232C、ネットワーク機能が働きます。

⑬ 待機時音声出力を設定する

待機状態のとき本体のAUDIO OUTPUT端子からの音声出力を設定できます。

選択項目	内容
入	音声信号は待機状態でもAUDIO OUTPUT端子から出力されます。
切	音声信号は待機状態のときにAUDIO OUTPUT端子から出力されません。

メモ

- 「待機状態モード」の「エコ」が選択されると、「待機時音声出力」は自動的に「切」に設定され、設定は変更できません。
- 本体が待機状態の場合、HDMI音声はAUDIO OUTPUT端子から出力されません。

⑭ DLP® Link™ を設定する

選択項目	内容
入	DLP® Link™ に設定します。
切	DLP® Link™ を解除します。

⑮ DLP® Link™ 同期タイミング反転を行う

同期タイミングの反転を繰り返します。

⑯ 初期設定に戻す

本体に行った設定を初期化します。

メモ

- 次の項目またはメニューは初期化できません。
  - 解像度
  - 言語設定
  - ランプ時間(残率)
  - システムロック
  - COMPUTER2選択

⑰ ランプ使用時間を確認する（ランプ時間（残率））

ランプの使用時間と残率が表示されます。

ランプ使用条件	残率表示	ランプ使用可能時間 100%	ランプ使用可能時間 5%
常に「エコ+静音」を「入」にして使用		約5000時間	約250時間
常に「エコ+静音」を「切」にして使用		約2,000時間	約100時間

メモ

- ランプは、ランプ残率が5%で交換することをおすすめします。
- 本機のランプ寿命は、使用状況によって変わることがあります。

3Dビデオ機能

3D映像は、両眼の視差を利用して、映像を立体に見せる技術です。

3D映像を見る前に

⚠ 警告

3D映像の視聴中

- 3D映像を近距離で長時間見ないでください。 視力が低下するおそれがあります。
- 3Dメガネを長時間装着してプロジェクタ画面を見たり、ビデオ ゲームをプレイしたりすると、めまいを感じる場合があります。
- 妊娠中の女性、ご年配の方、心臓に疾患を抱えている方、頻繁に嘔吐を感じる方、酔っている方は、3Dビデオの視聴を控えてください。
- 3D映像は、実際の出来事であるかのように錯覚させ、驚きや興奮を引き起こす場合があります。
- 3D映像を視聴するときは、壊れやすい物や、危害を及ぼす可能性のある物を身に付けないでください。
- 3D映像は、実際の出来事であるかのように錯覚させ、人や物に危害を与える原因となる場合があります。
- 5歳未満のお子様には3D映像を見せないでください。 視力の発達の妨げとなる可能性があります。
- 光過敏性発作に関する警告

  ビデオ ゲームで特定の映像（点滅する映像や特定のパターンの映像）を見ると発作を起こす人がいる場合があります。 自分または家族がてんかんや発作を起こしたことがある場合は、3D映像を見る前に、医師に相談してください。 3D映像の視聴中に次の症状を感じた場合は、すぐに視聴を中止し、休憩してください。

  - 気分がぼんやりする、視界の変動、眼や表情の無意識の動き、意識不明、けいれん、意識消失、混乱、方向感の消失、または嘔吐。 これらのうち1つ以上の症状が続く場合は、医師に相談してください。

  次に示す予防措置によって、3D映像の視聴による発作のリスクを軽減できます。

  - 1時間視聴した後に、5～15分休憩する。
  - 両目の視力が異なる場合は、視力を矯正して視聴する。
  - 視線の高さで正面から視聴する。
  - 頭痛、疲労、または嘔吐を感じた場合は、視聴を中止し、休憩する。
  - 眠い、疲れている、具合が悪いときは、長時間視聴しない。

⚠ 注意

3D映像の視聴中

- お子様が視聴するときは、特別な配慮をしてください。

3D映像視聴時の確認事項

- 有効な角度および距離で映像を視聴してください。
- 有効な角度および距離で見ないと、3Dにならない場合があります。
- 電源をオンにした後の初期動作中は、映像が重なって見える場合があります。 最適化されるまで、しばらく待つ必要があります。
- 他の箇所を見つめてから、3D映像を再び見ると、3Dに見えるまで少し時間がかる場合があります。
- 蛍光灯（50 Hz～60 Hz）や三色ライトの下、または窓際で視聴すると、映像が点滅する場合があります。 この場合は、カーテンを使用して太陽光を遮断したり、照明を暗くしたりしてください。
- DLP-Link™（DLP®対応）タイプの3Dメガネを使用します。

メモ

- 3D映像の視聴中は、一部のメニューが機能しない場合があります。
- 3D映像を十分楽しむために、サポートされている適切な3D映像形式を選択します。

DLP-Link™（DLP®対応）タイプの3Dメガネの使用方法

1 **プロジェクタの3D映像を見るときは、メガネのボタンを押します。**

2 **ボタンを押すと、ボタンが点滅して3D映像と同期します。（点滅は、DLP-Link™タイプの3Dメガネの動作方法であり、この動作はメガネによって異なります。）**

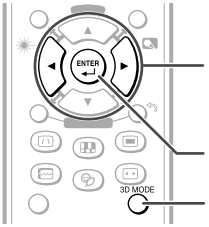
3 **視聴中に点滅などのトラブルが発生した場合は、部屋の照明を消します。 3Dメガネに関する質問については、販売業者にお問い合わせください。**

3D投映機能について

- 「DLP® Link™」を「入」に設定すると、次の機能が完全に機能しない場合や、使用できない場合があります。
  - 台形補正
  - 画面サイズ
  - 画面シフト
  - 拡大/縮小

3D表示モードを使用する

3D画像は次の手順で投映します。
3D LCDシャッター眼鏡と3D映像再生機器の操作については、該当する取扱説明書を参照してください。



◀/▶ボタン
ENTERボタン
3D MODE（3Dモード）ボタン

■ 3D画像を投映する

1 本体の電源をオンにする

2 3D映像再生機器をオンにする

- 3D映像再生機器を、「3D対応入力信号（推奨信号）について」に記載されている信号のいずれかを出力するように設定します。

3 本体の入力モードを3D映像信号の入力に対応するように切り換える

4 3D映像再生機器を操作して、3Dコンテンツを再生する

5 3D LCDシャッター眼鏡をオンにして、眼鏡を装着する

6 リモコンで3D MODEを押して3Dモードメニューを表示する

お知らせ

- 「無効なボタンが押されました。」が表示される場合、3D対応信号は入力されていません。再生機器の出力信号を確認してください。

7 ▶を押して「DLP® Link™」を「入」に設定する

8 ENTERを押してモードを切り換え、より自然な3D画像を表示できるようにする

警告

- 本体、3D映像再生機器、3D LCDシャッター眼鏡が正しく設定されていないと、画像が3Dで表示されないだけなでなく、眼精疲労が生じる場合があります。

つづく

3Dビデオ機能（つづき）

9 3D MODEを押す

・3Dモードメニューが表示されなくなります。

メモ

・画像が3Dで表示されない場合には、手順6から8を繰り返します。
・メニュー画面の「DLP® Link™」と「DLP® Link™ 同期タイミング反転」を使用しても3D設定を変更できます。

■ 3D投映を終了する

1 リモコンで3D MODEを押して3Dモードメニューを表示する

2 ◀を押して「DLP® Link™」を「切」に設定する

3 3D MODEを押す

・3Dモードメニューが表示されなくなります。

3D対応入力信号（推奨信号）について

KG-PH201WX

信号		水平周波数 [kHz]	垂直周波数 [Hz]	アナログサポート	デジタルサポート信号
SVGA	800 x 600	37.9	60	✓	✓
		77.1	120	✓ *1	✓
XGA	1024 x 768	48.4	60	✓	✓
		98.6	120	✓ *1	✓
WXGA	1280 x 800	49.7	60	✓	✓
		101.6	120	✓ *1	✓
	1280 x 720	45.0	60	✓	✓
		92.6	120	✓ *1	✓

*1 「信号調整」メニューの「EDID」は「標準」を選択します。

KG-PH202X

信号		水平周波数 [kHz]	垂直周波数 [Hz]
SVGA	800x600	37.9	60
		77.1	120
XGA	1024x768	48.4	60
		98.6	120

メモ

- ご使用のコンピュータのグラフィックカードが、3D立体画像信号を表示できる必要があります。コンピュータ/グラフィックカードの仕様を確認するか、コンピュータメーカーに問い合わせてください。

本機のネットワーク設定をする(ネットワークメニュー)

操作方法 ⇒ 44ページ参照

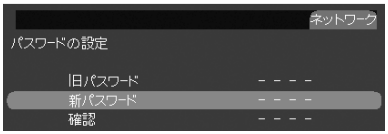
① パスワードを設定する

「ネットワーク」メニューを他の人に操作されたくないときは、パスワードの設定をしてください。

■ パスワードを設定する

1 「パスワード」を選び、ENTERまたは▶を押す

・パスワード入力画面になります。



2 ▲または▼を押し、パスワード番号の1桁目の数字を選び、▶を押す

3 同様に残りの3桁を入力し、ENTERを押す

・ひとつ前の桁に戻る時は、◀を押します。

4 確認欄にもう一度同じ数字を入力し、ENTERを押す

・「パスワード」が「入」になります。

メモ

・「ネットワーク」メニューを使うときに、パスワードを設定している場合は、パスワードの入力が必要です。

■ パスワードを変更する

1 「パスワード」を選び、ENTERまたは▶を押す

・パスワード入力画面になります。

2 ▲、▼、▶または◀を使って、「旧パスワード」の欄に設定済みのパスワードを4桁入力し、ENTERを押す

3 ▲、▼、▶または◀を使って、「新パスワード」の欄に新しいパスワードを4桁入力し、ENTERを押す

4 ▲、▼、▶または◀使って、「新パスワード」の欄に新しいパスワードを4桁入力し、ENTERを押す

メモ

・パスワードを未設定状態にしたいときは、手順**3**と手順**4**でパスワードを入力しないで**ENTER**を押してください。
・設定を途中で止めるときは、**RETURN**を押してください。

パスワードを忘れてしまったら

もしパスワードを忘れてしまったら、次の方法でパスワードを解除してください。パスワードを解除した後、あらためてパスワードを設定してください。

本体のボタン

を順に押す

メモ

・**ENTER**を5秒以上押すと、キーロック状態になります。(50ページ)
・パスワードを解除するときは本体のボタンを押してください。

② DHCP クライアント機能を設定する

LANケーブルは、本機の電源を入れる前に接続します。（電源を入れた後にLANケーブルを接続すると、DHCPクライアント機能が働きません。）

選択項目	内容
入	TCP/IP設定値を自動的に取得します。
切	TCP/IPを自分で入力します。

「DHCPクライアント」の「入」を選び、**ENTER**を押すと、「IPアドレス取得中」とメッセージが表示された後、メニュー画面に戻ります。「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」が正しく設定されているかTCP/IPの画面で確認してください。

DHCPサーバーが見つからなかった場合は、「IPアドレスを取得できませんでした。」とメッセージが表示されます。

このときは、TCP/IPを自分で入力してください。（「③ TCP/IPを設定する」参照）

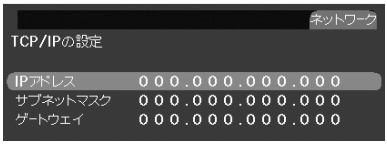
③ TCP/IP を設定する

TCP/IPを自分で入力します。

1 **「DHCPクライアント」の「切」を選び、ENTERを押す**

2 **「TCP/IP」を選び、ENTERを押す**

3 **▲、▼、▶と◀を使って「IPアドレス」を入力し、ENTERを押す**



4 **▲、▼、▶と◀を使って「サブネットマスク」を入力し、ENTERを押す**

5 **▲、▼、▶と◀を使って「ゲートウェイ」を入力し、ENTERを押す**

選択項目	内容
IPアドレス	出荷設定値： 192.168.150.002 ネットワークに適したIPアドレスを入力します
サブネットマスク	出荷設定値： 255.255.255.000 コンピュータやネットワーク上の機器と同じサブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ	出荷設定値： 000.000.000.000 * 使用しない場合は「000.000.000.000」に設定してください。

メモ

- 使用しているネットワークのセグメント（IPアドレスのグループ）をご確認の上、他のネットワーク機器やコンピュータのＩPアドレスと重複しないように設定してください。IPアドレス「192.168.150.XXX」のネットワークにて、「192.168.150.002」が未使用の場合は、本機のIPアドレスを変更する必要はありません。

④ 初期設定に戻す（ネットワーク）

本体に行ったネットワーク設定を初期化します。

メモ

- 本体のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの値が初期設定に戻されると、コンピュータのネットワーク設定によってはコンピュータが本体に接続できない場合があります。

⑤ ネットワーク機能を再起動する

ネットワーク機能を再起動します。
ネットワークから本体を制御できない場合に、この機能を行います。

つづく

本機のネットワーク設定をする（ネットワークメニュー）（つづき）

⑥ 本機の情報を確認する

次の項目を確認できます。

表示項目	内容	
IPアドレス	本体のIPアドレスが表示されます。	
MACアドレス	本機のMACアドレスが表示されます。	
プロジェクター	本機に設定しているプロジェクター名が表示されます。	
リンク	ネットワークの接続状態が表示されます。	
	接続	ネットワークに接続されています。
	切断	ネットワークから切断されています。

メモ

- プロジェクター名の変更のしかたについては「セットアップ説明書」をご覧ください。

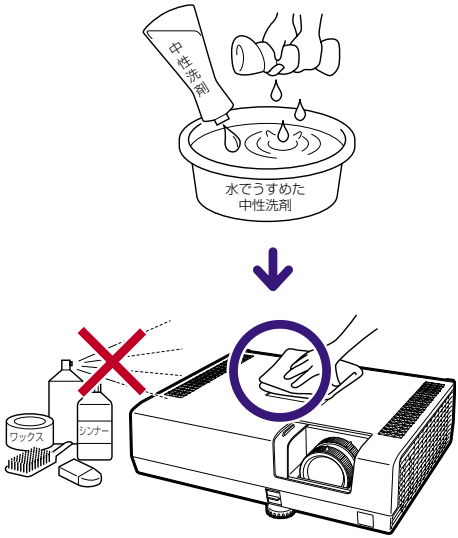
本機をＬＡＮ経由で制御するに為には　ホームページより「セットアップ説明書」をダウンロードして下さい。
詳細説明がご覧いただけます。

http://www.taxan-projector.jp/support/download/index.html

お手入れのしかた

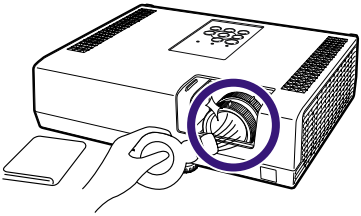
キャビネットの手入れのしかた

- キャビネットを手入れするときは、必ず電源コードを抜いて行ってください。
- キャビネットや操作パネル部分はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふくと変質したり、塗料がはげることがありますのでご使用にならないでください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。
  また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
  プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- 汚れはネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。
- 汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
  強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。



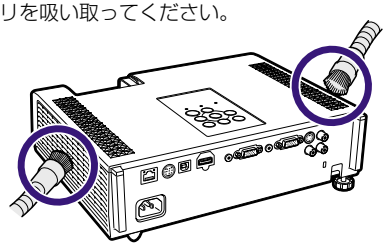
レンズの手入れのしかた

- レンズの清掃は、市販のブロワーやレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラなどの清掃に使用)で行ってください。この際、液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因となります。
- 表面は傷つきやすいのでこすったり、たたいたりしないでください。



排気孔や吸気孔の手入れのしかた

- 排気孔や吸気孔の清掃は、掃除機でゴミ、ホコリを吸い取ってください。



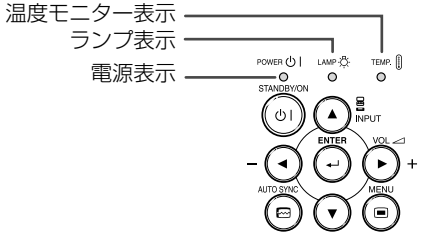
お知らせ

- プロジェクターの動作中に通風孔の掃除を行う場合は、本体の**STANDBY/ON**またはリモコンの**STANDBY**を押して電源を待機状態にした後、冷却ファンが止まるのを待ってから行ってください。

お知らせ表示について

■ 本機では、内部の異常をお知らせ表示（電源表示、ランプ表示、温度モニター表示）が点灯してお知らせします。
■ 内部に異常が生じると、その異常の現象によって、温度モニター表示もしくはランプ表示が赤色に点灯し電源が待機状態になります。以下の処置を行ってください。

本体天面



温度モニター機能について

設置状況や通風孔の目づまり等により内部温度が高温になると、画面左下に「温度」が表示されます。さらに温度が上昇すると、ランプが消灯し温度モニター表示が点滅、ファン冷却後、待機状態になります。画面左下に「温度」の表示が出た時点で67ページの表の内容に従い処置をしてください。

ランプ交換お知らせ機能について

■ ランプ残率が5%以下になると、「▒（黄色）」と「ランプを交換してください。」が画面に表示されます。残り時間が0%になると、「▒（赤色）」と「ランプを交換してください。」が画面に表示され、自動的にランプ（光源）が消灯し、電源が待機状態になります。このとき、ランプ表示が赤色点灯します。
■ ランプを交換せずに電源を入れ直すと、**4回目からは電源が入らなくなります**のでご注意ください。

本体のランプ表示について

電源表示	赤色点灯	スタンバイ中です
	緑色点灯	電源「入」の状態です
	赤色点滅	異常があります（67ページ）
	緑色点滅	冷却中です
	緑色とオレンジ色点滅	レンズシャッターが閉じています（17、28ページ）
ランプ表示	緑色点灯	正常
	緑色点滅	光源起動中
	赤色点灯	ランプが正常に起動（点灯）しなかったとき、ランプの交換時期となったときです（67ページ）
温度モニター表示	消灯	正常
	赤色点灯と赤色点滅	内部温度が上昇しています（67ページ）

お知らせ表示			現象	考えられる原因	処置のしかた
	正常	異常			
温度モニター表示	消灯	赤色点滅（動作時） 赤色点灯（待機状態時）	内部温度が高温になっている	• 通風孔がふさがれている	• 正しい設置場所に設置してください。（10ページ）
				• 冷却ファンの故障 • 内部回路の故障 • 内部通風孔の目づまり	• カスタマーセンター（79ページ）に修理を依頼してください。
ランプ表示	緑色点灯（緑色点滅は光源起動中）	赤色点灯	ランプが正常に起動（点灯）しない	• ランプが異常シャットダウンした。	• 電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んで電源を入れてください。
			ランプ交換時期	• ランプ残率が5%以下になった	• ランプを交換してください。（68ページ） • ランプの交換または修理はカスタマーセンター（79ページ）にお問い合わせください。 • ランプを交換するときは、注意して行ってください。 • ランプユニットカバーをしっかりと取り付けてください。
		赤色点灯（待機状態時）	ランプ（光源）が点灯しない	• ランプ（光源）が切れた • ランプ（光源）点灯回路故障	
電源表示	赤／緑色点灯 緑色点滅（冷却中）	赤色点滅	プロジェクターの電源を入れると、電源表示が赤色点滅する	• ランプユニットカバーが外れている	• ランプユニットカバーをしっかり取り付けても電源表示が点滅する場合は、カスタマーセンター（79ページ）にお問い合わせください。

お知らせ

- 温度モニター表示が点滅し、電源が待機状態になったときは、処置（10ページ）を行った後、再度電源を入れてください。再度電源を入れる場合は、内部温度が十分に下がるまで(10分以上)待ち、電源プラグをいったんコンセントから抜いて電源を入れ直してください。
- プロジェクターを使用しているときに、停電などで一瞬電源が切れた直後に電源が復旧した場合、ランプ表示が赤色点灯し、ランプが点灯しなくなることがあります。このときは、電源プラグをいったんコンセントから抜いて、再度電源を入れ直してください。
- 冷却ファンは内部温度を一定にしますが、その機能は自動制御されています。冷却ファンの音がプロジェクターの操作中に変化することがありますが、ファンの速さを変えているためで、故障ではありません。

ランプを交換する

ランプについて

■ 光源として使われているランプは消耗品です。「ランプ時間（残率）」のランプ残率が5%以下になったときは、早めに新しいランプ（別売）と交換してください。5%以上のランプ残率でも、使用中にランプが切れることがありますので、映像が暗くなったり、色あいが悪くなってきた場合は早めに新しいランプと交換してください。ランプ残率（パーセント表示）は、画面表示で確認できます。（57ページ参照）

■ 別売のランプユニット（形名KG-LPH2230）をご購入ください。

ランプ使用上のご注意

■ プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。当ランプは衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。
また、当ランプは、個体差や使用条件によって破裂や不点灯にいたるまでの時間に大きな差があります。

■ 「ランプ表示」が点灯した場合は、ランプが正常に点灯している状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。

⚠警告

■ 当ランプが破裂したときは、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性がありますので、カスタマーセンターに内部の点検を依頼してください。

・ 当ランプが破裂したとき、ランプハウスにガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスがプロジェクターの排気孔から出たりすることがあります。当ランプ内部のガスには水銀が含まれていますので破裂した場合は十分な換気をしてください。万一吸い込んだり、目に入ったり口に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。

⚠警告

ランプ交換時のご注意

■ ランプユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプが高温になっていることがあり、やけどの原因となります。

■ ランプユニットを取り外すときは、電源コードを抜いて少なくとも1時間以上放置し、ランプユニットの表面が完全に冷めたことを確認してから行ってください。

ランプ交換は、次ページで説明している操作手順に従い注意して行ってください。

ランプ交換のしかた

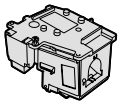
警告

・ランプユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプおよびその周辺が高温になっていることがあり、やけどの原因となります。

お知らせ

・ランプユニットのガラス表面やプロジェクター本体の内部には触れないでください。
・けがやランプの破損を防ぐため、手順にそって作業を行ってください。
・ランプユニットカバーとランプユニット以外のネジは絶対に外さないでください。

別売品



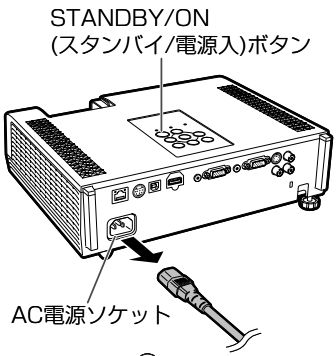
ランプユニット
形名
KG-LPH2230

1 本体のSTANDBY/ONまたはリモコンのSTANDBYを押し、プロジェクターを待機状態にする

・冷却ファンが止まるまで待ちます。

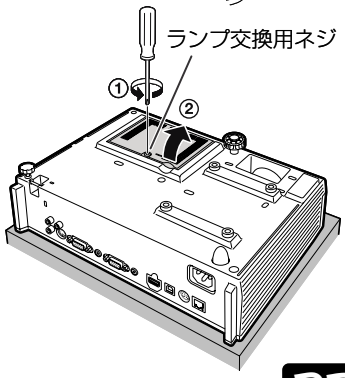
2 電源コードをプロジェクターから取り外す

・電源コードをAC電源ソケットから外します。
・**ランプユニットが十分冷えるまで（約1時間）放置します。**



3 ランプユニットカバーを取り外す

・プロジェクターを裏返しにして、ランプユニットカバーを固定しているランプ交換用ネジをゆるめます（①）。矢印の方向にランプユニットカバーを取り外します（②）。

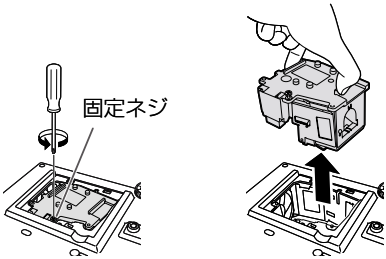


つづく

ランプを交換する（つづき）

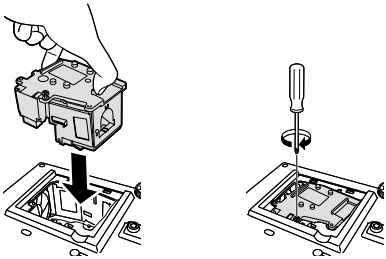
4 ランプユニットを取り外す

・固定ネジをゆるめます。ランプユニットを水平に保ちながら傾けないようにして矢印の方向に引き出します。



5 新しいランプユニットを挿入する

・ランプユニットをしっかりとランプユニット収納部に押し込みます。固定ネジをしめます。

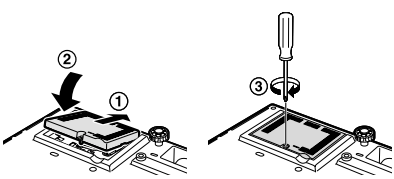


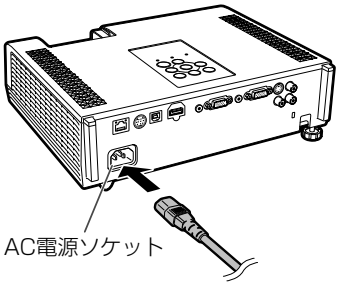
6 ランプユニットカバーを取り付ける

・ランプユニットカバーのタブを本体に合わせ（①）、つまみを押しながらランプユニットカバーを取り付けます（②）。ランプ交換用ネジを閉め（③）、ランプユニットカバーを固定します。

お知らせ

・電源コードが接続されていてもランプユニットとランプユニットカバーが正しく取り付けられていないと、電源が入りません。



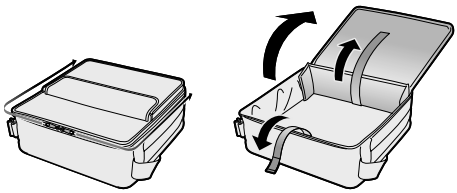


プロジェクターを収納する

収納ケースの使いかた

プロジェクターを収納するときは、レンズシャッターを閉じて、付属の収納ケースに入れてください。

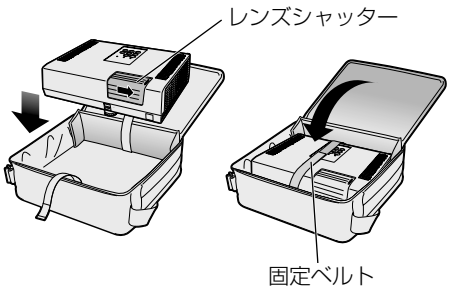
1 カバーを開ける



2 本体を収納ケースの中に入れる

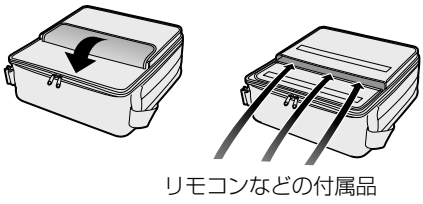
お知らせ

- 本体が十分冷えてから収納してください。
- 冷却ファンが停止していることを確認してから収納ケースに入れてください。
- レンズを保護するためレンズシャッターを閉じてください。
- **レンズ側が収納ケースの取っ手側に向くように入れてください。**
- 本体を固定するため、固定ベルトを留めてください。
- 収納ケースは、直射日光の当たる場所や、熱器具などの近くに放置しないでください。変形・変色の原因になります。



3 カバーを閉める

4 付属品を収納ケース前部のポケットに収納する



入力信号（推奨信号）について

KG-PH201WX

コンピュータ

- 幅広い信号に対応。
  水平周波数：15-110 kHz,
  垂直周波数：45-85 Hz,
  ドットクロック：12-165 MHz
  同期信号：TTLレベルに対応。
- シンクオングリーン信号に対応。

下表はVESA準拠モード一覧です。ただし本機はVESA規格以外の信号にも対応しています。

PC/MAC	Mode	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格	HDMI	ディスプレイ
PC	VGA	640 × 480	26.2	50	✔		拡大表示
			31.5	60	✔	✔	
			34.7	70	✔		
			37.9	72	✔	✔	
			37.5	75	✔	✔	
			43.3	85	✔		
	SVGA	800 × 600	31.3	50	✔		
			35.2	56	✔	✔	
			37.9	60	✔	✔	
			46.6	70	✔		
			48.1	72	✔	✔	
			46.9	75	✔	✔	
			53.7	85	✔		
	XGA	1024 × 768	40.3	50	✔		
			48.4	60	✔	✔	
			56.5	70	✔	✔	
			60.0	75	✔	✔	
			68.7	85	✔		
	WXGA	1280 × 720	45.0	60	✔	✔	リアル表示
		1280 × 768	47.8	60	✔	✔	
		1280 × 800	49.7	60	✔	✔	
			62.8	75	✔		
		1360 × 768	47.7	60	✔	✔	圧縮表示
		1366 × 768	47.8	60	✔	✔	
	WXGA+	1440 × 900	55.9	60	✔		
	SXGA	1152 × 864	55.0	60	✔		
			66.2	70	✔		
			67.5	75	✔		
		1280 × 960	60.0	60	✔	✔	
			75.0	75	✔		
		1280 × 1024	64.0	60	✔	✔	
			80.0	75	✔	✔	
	SXGA+	1400 × 1050	64.0	60	✔	✔	
			65.3	60	✔	✔	
	WSXGA+	1680 × 1050	65.3	60	✔		
	UXGA	1600 × 1200	75.0	60	✔		
MAC 13"	VGA	640 × 480	34.9	67	✔		拡大表示
MAC 16"	SVGA	832 × 624	49.7	75	✔		
MAC 19"	XGA	1024 × 768	60.2	75	✔		
MAC 21"	SXGA	1152 × 870	68.7	75	✔		圧縮表示

メモ

- コンピュータから出力される信号の解像度を、ディスプレイ欄のリアル表示に対応する解像度にあわせると、最良の映像が得られます。
- コンピュータの「画面解像度」とプロジェクターで表示される入力解像度が違っているときは：
  - 「信号調整」－「解像度」でコンピュータの「画面解像度」と同じ解像度を選んでください。
  - お使いのコンピュータの仕様によっては「画面解像度」と同じ信号が出力されない場合があります。その場合は、コンピュータの出力設定をご確認ください。出力設定が変更できない場合は、上記ディスプレイ欄のリアル表示に対応する解像度に変更することをお勧めします。

DTV

入力信号 (有効走査線数)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	VESA 規格	HDMI	入力信号 (有効走査線数)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	VESA 規格	HDMI
480I	15.7	60	✔		1080I	28.1	50	✔	✔
480P	31.5	60	✔	✔	1080I	33.8	60	✔	✔
540P	33.8	60	✔		1080P	27.0	24		✔
576I	15.6	50	✔		1080P	28.1	25		✔
576P	31.3	50	✔	✔	1080P	33.8	30		✔
720P	37.5	50	✔	✔	1080P	56.3	50	✔	✔
720P	45.0	60	✔	✔	1080P	67.5	60	✔	✔
1035I	33.8	60	✔						

KG-PH202X

コンピュータ

- 幅広い信号に対応。
  水平周波数：15-110 kHz,
  垂直周波数：45-85 Hz,
  ドットクロック：12-165 MHz
  同期信号：TTLレベルに対応。
- シンクオングリーン信号に対応。

PC/MAC	Mode	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数(Hz)	ディスプレイ
PC	VGA	640 × 400	27.0	60	拡大表示
			31.5	70	
			37.9	85	
		720 × 400	27.0	60	
			31.5	70	
			37.9	85	
		640 × 480	26.2	50	
			31.5	60	
			34.7	70	
			37.9	72	
			37.5	75	
			43.3	85	
	SVGA	800 × 600	31.3	50	
			35.2	56	
			37.9	60	
			46.6	70	
			48.1	72	
			46.9	75	
			53.7	85	
	XGA	1024 × 768	40.3	50	
			48.4	60	
			56.5	70	
			60.0	75	
			68.7	85	
	WXGA	1280 × 720	45.0	60	リアル表示
		1280 × 768	47.8	60	
		1280 × 800	49.7	60	
			62.8	75	
		1360 × 768	47.7	60	圧縮表示
		1366 × 768	47.8	60	
	WXGA+	1440 × 900	55.9	60	
	SXGA	1152 × 864	55.0	60	
			66.2	70	
			67.5	75	
		1280 × 960	60.0	60	
			75.0	75	
		1280 × 1024	64.0	60	
			80.0	75	
	SXGA+	1400 × 1050	64.0	60	
			65.3	60	
	WSXGA+	1680 × 1050	65.3	60	
	UXGA	1600 × 1200	75.0	60	
MAC 13"	VGA	640 × 480	34.9	67	拡大表示
MAC 16"	SVGA	832 × 624	49.7	75	
MAC 19"	XGA	1024 × 768	60.2	75	
MAC 21"	SXGA	1152 × 870	68.7	75	圧縮表示

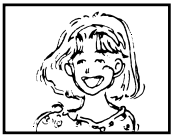
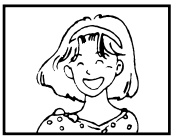
メモ

- コンピュータから出力される信号の解像度を、ディスプレイ欄のリアル表示に対応する解像度にあわせると、最良の映像が得られます。
- コンピュータの「画面解像度」とプロジェクターで表示される入力解像度が違っているときは：
  - 「信号調整」－「解像度」でコンピュータの「画面解像度」と同じ解像度を選んでください。
  - お使いのコンピュータの仕様によっては「画面解像度」と同じ信号が出力されない場合があります。その場合は、コンピュータの出力設定をご確認ください。出力設定が変更できない場合は、上記ディスプレイ欄のリアル表示に対応する解像度に変更することをお勧めします。

DTV

入力信号 (有効走査線数)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	入力信号 (有効走査線数)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
480I	15.7	60	1080I	28.1	50
480P	31.5	60	1080I	33.8	60
540P	33.8	60	1080P	27.0	24
576I	15.6	50	1080P	28.1	25
576P	31.3	50	1080P	33.8	30
720P	37.5	50	1080P	56.3	50

故障かな？と思ったら

こんなとき	ここをお調べください	ページ
 映像も音声も出ない、またはプロジェクターが始動しない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	27
	• 接続した外部機器の電源が「切」の状態になっていませんか。	–
	• レンズシャッターが閉じていませんか。	17, 28
	• 表示させる画面の選択（入力モード）がまちがっていませんか。	32
	• AVミュート機能が設定されていませんか。	32
	• プロジェクターの配線は、正しく接続されていますか。	23–27
	• リモコンの乾電池が消耗していませんか。	16
	• ノート型コンピュータを接続しているとき、外部出力状態に設定されていますか。	23
	• ランプユニットカバーは正しく取り付けられていますか。	69, 70
 音声は出るが映像が出ない（暗い）	• プロジェクターの配線は、正しく接続されていますか。	23–27
	• 映像調整の「明るさ」が「−(マイナス)」側いっぱいになっていませんか。	47
	• お使いのコンピュータによっては、コンピュータの出力信号を外部出力に切り換えないと映像が表示されない場合があります。詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。 • 「DLP® Link™」が「入」が選択されていませんか。	– 57
画像が暗い、または青がかっている	• 「壁色補正」は正しく設定されていますか。	53
 色がうすい、色あいが悪い	• 映像調整は、正しく設定されていますか。 • 「映像モード」で「色の濃さ」と「色あい」を調整するか、「BrilliantColor™」を下げてください。	47
	〈S-VideoおよびVideo入力のみ〉 • ビデオの映像信号方式は正しく設定されていますか。 〈COMPUTER/COMPONENT 1および2入力のみ〉 • 入力信号タイプ（RGB/コンポーネント）は正しく設定されていますか。	50 49
 映像がボヤける ノイズが発生する.	• レンズのフォーカス（ピント）は合っていますか。	29
	• 投映距離が、フォーカスの合う範囲を超えていませんか。	20, 21
	• レンズが曇っていませんか。プロジェクターを温度の低い部屋から暖かい部屋に持ち込んだ場合、または部屋を急激に暖房した場合、レンズ表面に結露が生じることがあり、この場合映像がボヤけます。プロジェクターは、使用する最低1時間前にはセットアップしてください。結露が生じた場合は、電源コードを壁面のコンセントから抜き、結露がなくなるまでお待ちください。	–
	〈コンピュータ入力のとき〉 • 同期調整(クロック調整、位相調整)を行ってください。 • コンピュータによってはノイズが発生することがあります。	49 –
 映像は出るが音声が出ない	• プロジェクターの配線は、正しく接続されていますか。	23–27
	• 音量が最小になっていませんか。 • 外部機器と接続しているとき、本機の音量が最小になっていると外部機器の音量を上げても音声がでません。	32
	• 「メニュー」−「本体設定」−「スピーカー」が「切」になっていませんか。 • AV ミュートモードになっていませんか。	54 57
画像が中央にない	• 「信号調整」メニューの各項目を必要に応じて調整してください。	49
	• お使いのコンピュータによっては、設定した解像度と異なる信号が出力される場合があります。詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。	–
キャビネットから時々「ピシッ」と音がする	• 画面に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットが、わずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	–

こんなとき	ここをお調べください	ページ
お知らせ表示（本体 ランプ）が赤点灯 （点滅）する	• 「お知らせ表示について」をご覧ください。	66
COMPUTER (YPbPr)/ HDMI (YPbPr)で画像が緑がかっている	• 入力信号タイプ設定を変更してください。	49
COMPUTER (RGB)/ HDMI (RGB)で画像がピンクがかっている（緑がない）		
映像が明るすぎて白っぽくなる	• 映像調整は、正しく調整されていますか。	47
ファンの音が大きくなる	• 内部温度が上昇し、冷却するためファンの回転が早くなるためです。	10, 65, 66, 67
電源を入れてもランプが点灯しない	• ランプ表示が赤色点灯していませんか。赤色点灯しているときは、ランプを交換してください。 • レンズシャッターが閉じていませんか。	66, 69, 70 17, 28
使用中に突然ランプが消灯した		
映像が時々ちらつくことがある	• 接続状態や接続機器に問題はありませんか。 • 頻繁に起こるときは、ランプが故障している場合があります。ランプを交換してください。	23–27 69
電源を入れるとき、ランプが点灯するまで時間がかかる	• ランプは消耗品です。寿命が近づくと点灯しにくくなることや映像が暗くなることがあります。ランプを交換してください。	69
映像が暗い		
リモコンで操作できない	• リモコンの発信部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作していますか。リモコン受光部に向かって操作してください。 • プロジェクターから離れすぎていませんか。 • リモコンの受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか。強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて設置してください。	16
	• リモコンの乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか。新しい乾電池を正しい向きでセットしてください。	16

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの妨害ノイズや誤った操作により、正常に動作しない事があります。
正常に動作しない時は、一度、電源プラグをコンセントから抜き、約5分以上おいてから再びコンセントに差し込んで電源を入れ直して下さい。

仕様

形名			KG-PH201WX	KG-PH202X
表示デバイス			0.65型 DLP®チップ ×1	0.55型 DLP®チップ ×1
解像度			WXGA (1280 × 800)	XGA（1024×768）
レンズ	F 値		F 2.4 - 2.6	
	ズーム		手動、1.20倍（f=19.0～22.7 mm）	
	フォーカス		手動	
入力端子	HDMI		1系統	—
	コンピュータ/コンポーネント（ミニD-sub15ピン）		2系統	
	S映像（ミニDIN 4ピン）		1系統	
	映像（RCA）		1系統	
	音声（φ3.5 mmステレオミニジャック）		1系統	
	音声（RCA）		1系統（左/右）	
出力端子	コンピュータ/コンポーネント（ミニD-sub15ピン）		1系統（COMPUTER/COMPONENT 2と共有。切り換え可能）	
	音声（φ3.5 mmステレオミニジャック）		1系統（可変音声出力）	
制御、その他	LAN端子（RJ-45）		1系統	
	USB端子（タイプ B）		1系統	
	RS-232C端子（ミニDIN 9ピン）		1系統	
内蔵スピーカー			7 W（モノラル）	
ランプ			250 W	
定格電圧			AC 100 - 240 V	
定格周波数			50/60 Hz	
入力電流			3.2 A	
消費電力 (AC 100V時)		エコ + 静音　切	322 W	
		エコ + 静音　入	215 W	
消費電力（待機時消費電力） (AC 100V時)		クイックスタート	4.4 W	3.6 W
		エコ	0.32 W	
使用温度範囲			5℃～35℃	
キャビネット			プラスチック	
外形寸法（突起部除く）幅×奥行×高さ（mm）			300 × 79 × 236 mm	
質量			2.8 kg	

・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
・JIS C 61000-3-2適合品
本装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2に適合しています。

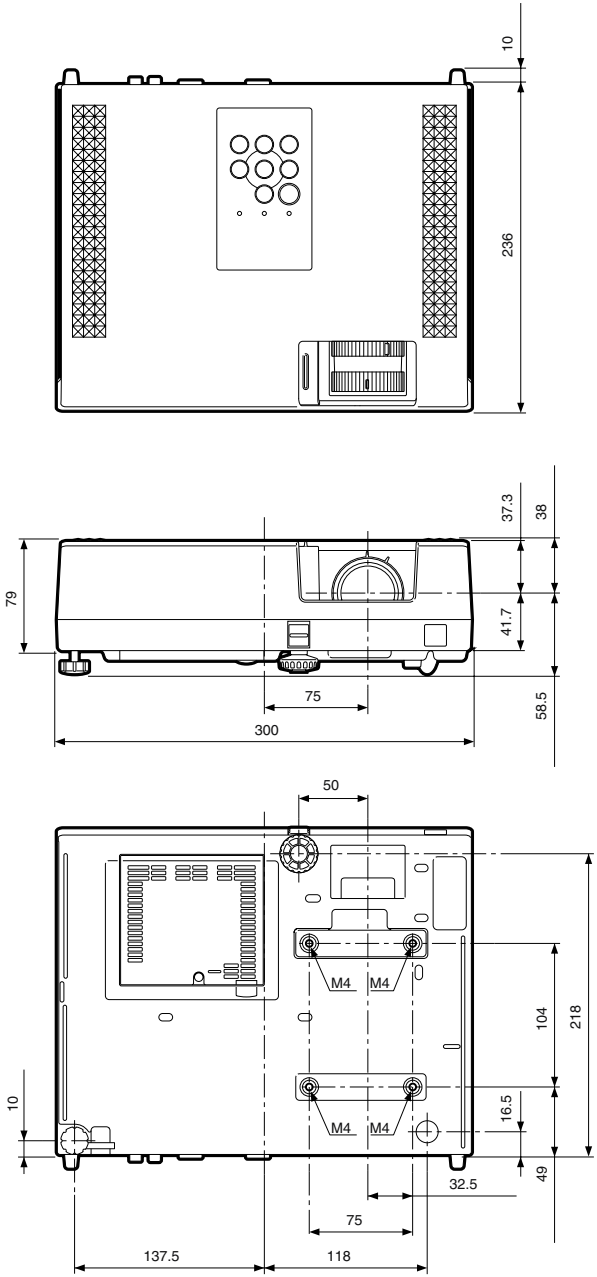
- DLP®チップは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がいくらかある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

お願い

- ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

寸法図

単位：mm


10
236
37.3
38
79
41.7
75
58.5
300
50
M4
M4
104
218
10
M4
M4
16.5
49
32.5
75
137.5
118

万一のトラブルにも安心。
充実のお客様サポートプラン。

TAXAN は、通常の1年間の保証以外に安心・充実のサポートを提供いたします。

TAXAN データ・プロジェクタ　サポート　無 料

●サポート内容

1. ランプが故障した場合、製品購入後 6 か月以内でかつ使用時間が 500 時間以内であれば、
   無料で新品ランプに交換いたします。(注 1)(注 2)(注 3)
2. 故障が発生した際の、製品の引き取り及び修理完了品のお届を送料無料で行います。(注 2)
3. 製品の修理期間中に代替機を無料でお届けいたします。
   また、修理完了品のお届け時に代替機の回収を無料で行います。
   (修理依頼の際にお申し出があった場合に限ります)(注 4)

●お申込み方法

下記の TAXAN ホームページからユーザー登録及び TAXAN データ・プロジェクタ サポートのお申し込みを
お願いします。
http://www.taxan-projector.jp/support/maintenance/index.html

●サポート有効期間

ご登録いただいてから保証期間終了時(製品購入から 1 年)までとなります。
ご登録は、製品購入後から 2 か月以内にお願いいたします。
(2 か月を超過した場合、登録を受け付けることができません)

●対象機種

「TAXAN」ブランド製品

(注1)製品購入後6か月を超えた場合には、使用時間が500時間以内でもランプと交換費用は有料となります。使用時間が500時間を超えた場合には、製品購入後6か月以内でもランプと交換費用は有料となります。(注2)製品を天吊りしている場合など、製品の取り外し・取り付けに関する費用は有料となります。(注3)落下・衝撃等適正ではない取扱いで生じたランプ破損は対象外となります。(注4)代替機のお届けは、お申し出があった場合に限ります。

お問い合わせ先　TAXANプロジェクタ カスタマーセンター
TEL 0120-331-059　受付時間 平日 9:00～17:00
携帯電話、PHSからもご利用いただけます。

TAXAN